

Ⅱ 調査結果

第1章 県民の自己像

第1章 県民の自己像

前回調査から調査項目として加えた県民の自己像について、引き続き質問を行った。

本章では、家族や社会との関係を主な切り口として、自己と自己を取り巻く状況に対する等身大の県民意識を沖縄県民の自己像としてまとめた。また、前回調査結果との比較を行い、時系列での変化も探った。

「1 自己及び家族に対する意識」では、「人と人のつながりは強まったと思うか」、「20年先の沖縄は現在よりも発展していると思うか」、「努力すれば人生は変わると思うか」、「幸せだと感じているか」、「幸せを感じる時」、「世帯の経済状況」、「仕事への満足度」、「家族との関係」、「健康状態」、「住まいへの満足度」、「生きがい」の11項目について尋ねた。

「2 自己及び社会に対する意識」では、「社会に対する満足度」、「県民間の経済格差」、「沖縄県に誇りを感じるか」、「沖縄県に生まれて良かったと思うか」、「米軍施設への認識」、「イベント・催し物への参加」の6項目について尋ねた。

設問に対する回答は、それぞれ地域別、年代別、性別、年収別による集計を行った。

1. 自己及び家族に対する意識（問1）

(1) 人と人のつながり（問1-1）

10年前の沖縄に比べて、人と人のつながりは強まったと思うかについて、「弱まった」(37.0%)という回答が最も高く、以下「変わらない」(29.2%)、「強まった」(7.2%)となっている。「わからない」は26.2%となっている。

前回調査と比較すると、最も回答の多かった「弱まった」が前回43.5%から6.5ポイント減少している。一方で、「強まった」が前回5.7%から1.5ポイント、「変わらない」が前回23.7%から2.5ポイント増加している。

年代別に見ると、「強まった」と答えた人の割合は10代で、「変わらない」と答えた人の割合は40代、60代、70代以上で、「弱まった」と答えた人の割合は40代から60代で、「わからない」と答えた人の割合は10代から30代で、それぞれ相対的に高くなっている。

年収別に見ると、「弱まった」と答えた人の割合は年収600～700万円未満で特に高くなっている。

図1-1-1-1 問1-1 人と人のつながり

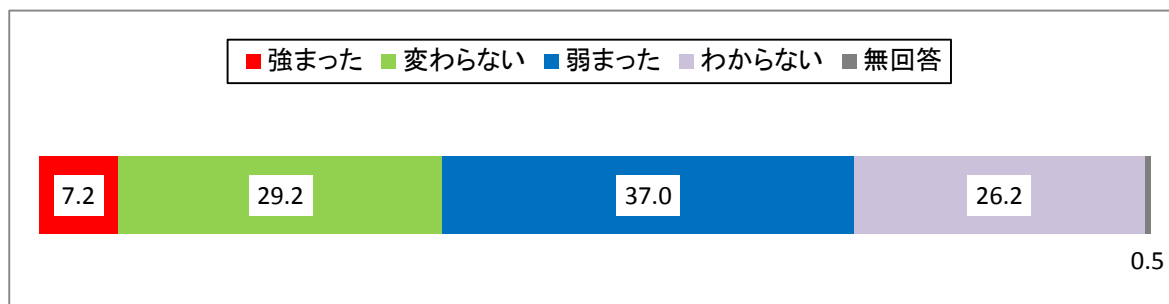


図1-1-1-2 地域別 問1-1

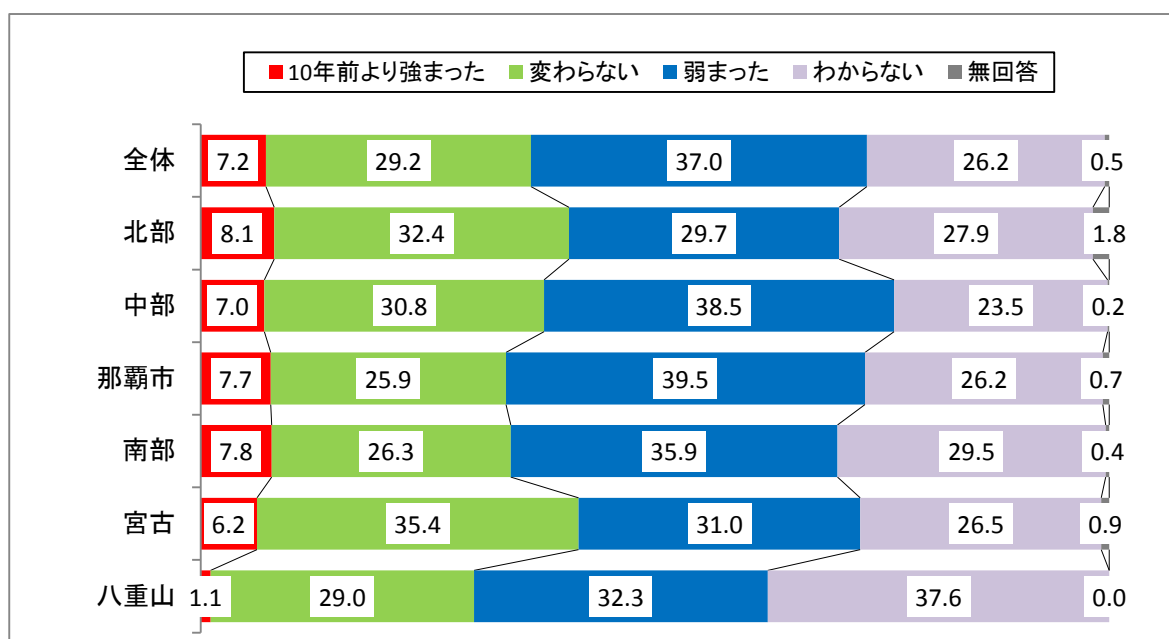


図 1-1-1-3 年代別 問 1-1

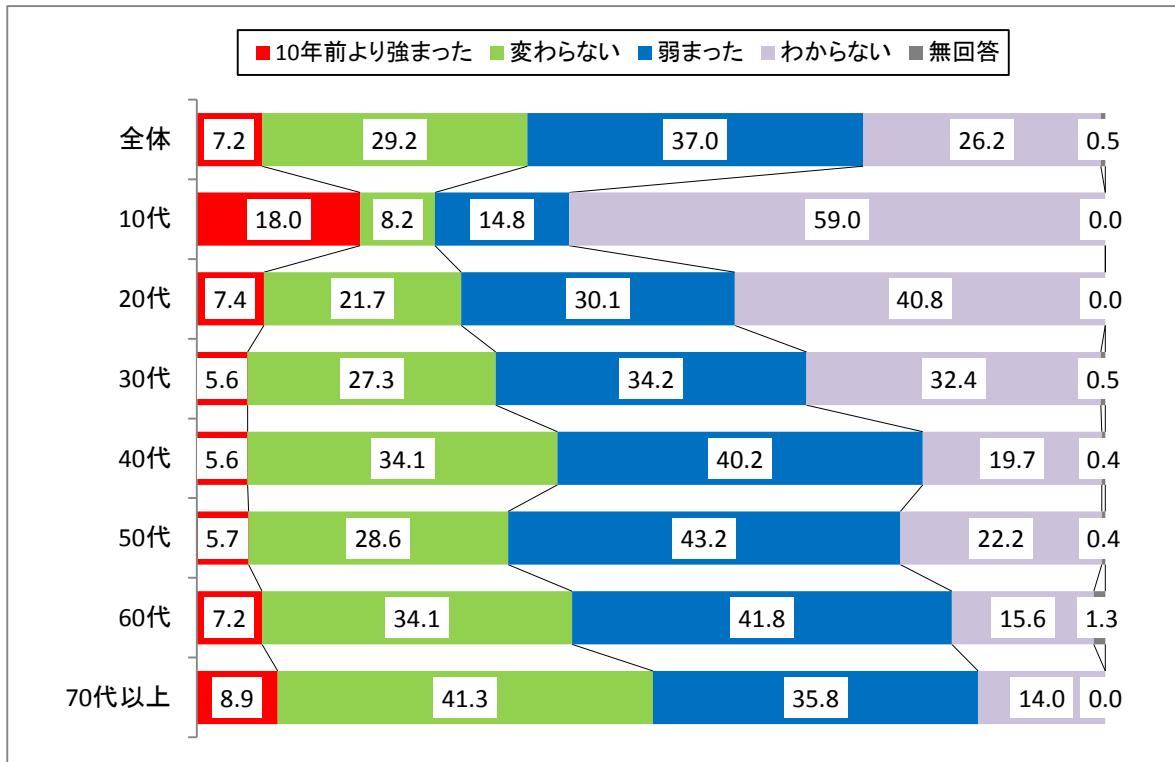


図 1-1-1-4 性別 問 1-1

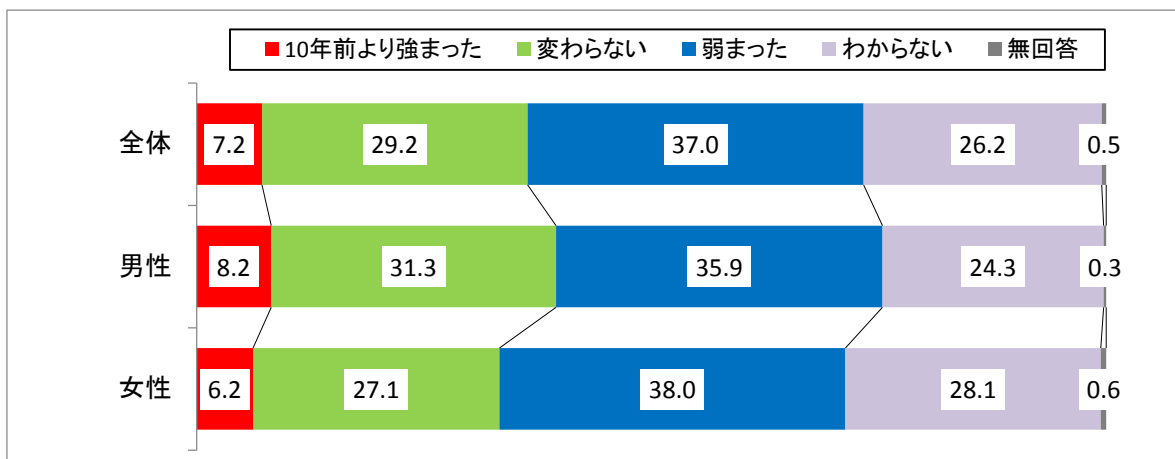
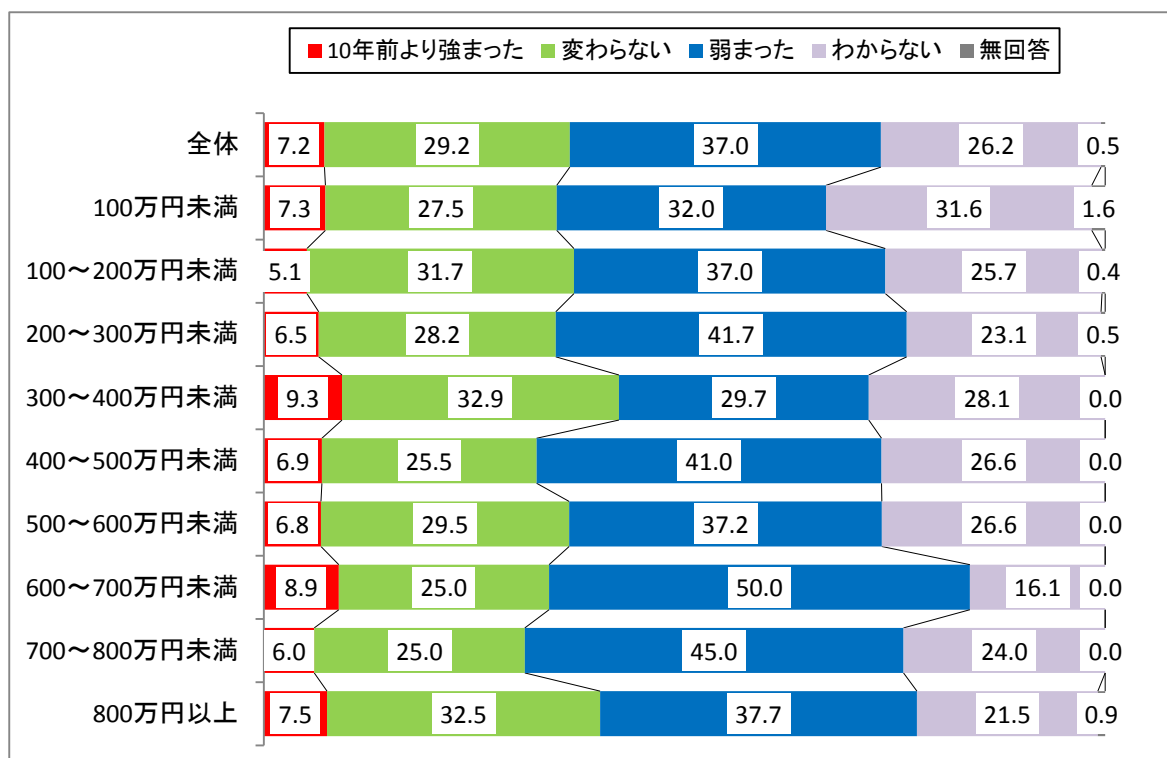


図 1-1-1-5 年収別 問 1-1



(2) 20年先の沖繩 (問 1-2)

20年先の沖繩は現在より発展し輝いていると思うかについて、「そう思う」(34.7%)と答えた人の割合が最も高く、以下、「今とあまり変わらない」(24.9%)、「そうは思わない」(20.5%)となっている。なお、「わからない」と答えた人の割合は19.6%となっている。

前回調査と比較すると、「そう思う」が前回22.2%から12.5ポイント増加している。一方で、「今とあまり変わらない」が前回31.4%から6.5ポイント、「そうは思わない」が前回27.2%から6.7ポイント減少している。今回は未来への明るい展望を抱く回答が大きく増加している。

地域別では「そう思う」と答えた人の割合は宮古、八重山の離島に比べ本島で高くなっている。

年代別に見ると、「そう思う」と答えた人の割合は10代で5割を超えているのが目立つ。

性別に見ると、「わからない」と答えた人の割合は女性で高くなっている。

年収別に見ると、「そう思う」と答えた人の割合が年収800万円以上で5割となっているのを始め、600～800万円未満の各層でも4割台半ばと高くなっている。「そうは思わない」と答えた人の割合は500～600万円未満で高くなっている。

図 1-1-2-1 問 1-2 20 年先の沖縄

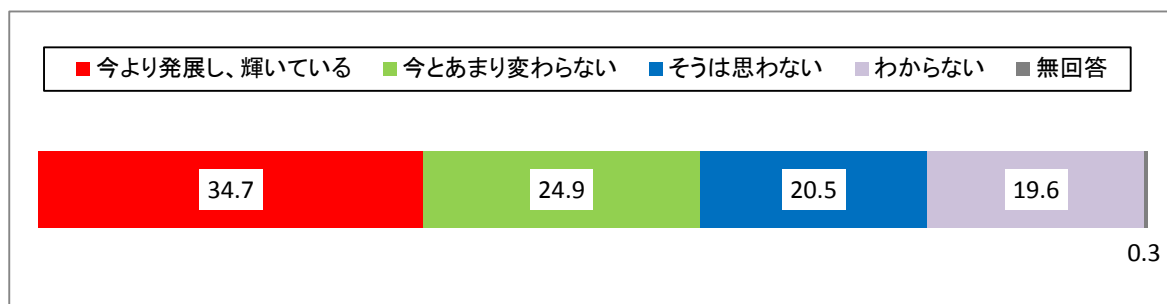


図 1-1-2-2 地域別 問 1-2

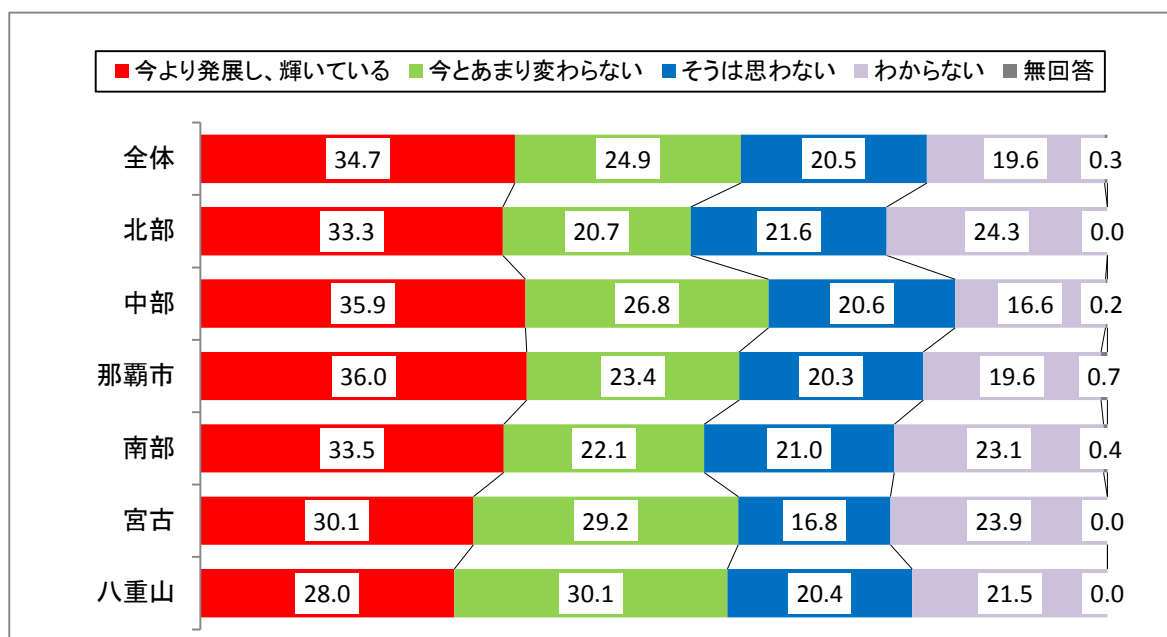


図 1-1-2-3 年代別 問 1-2

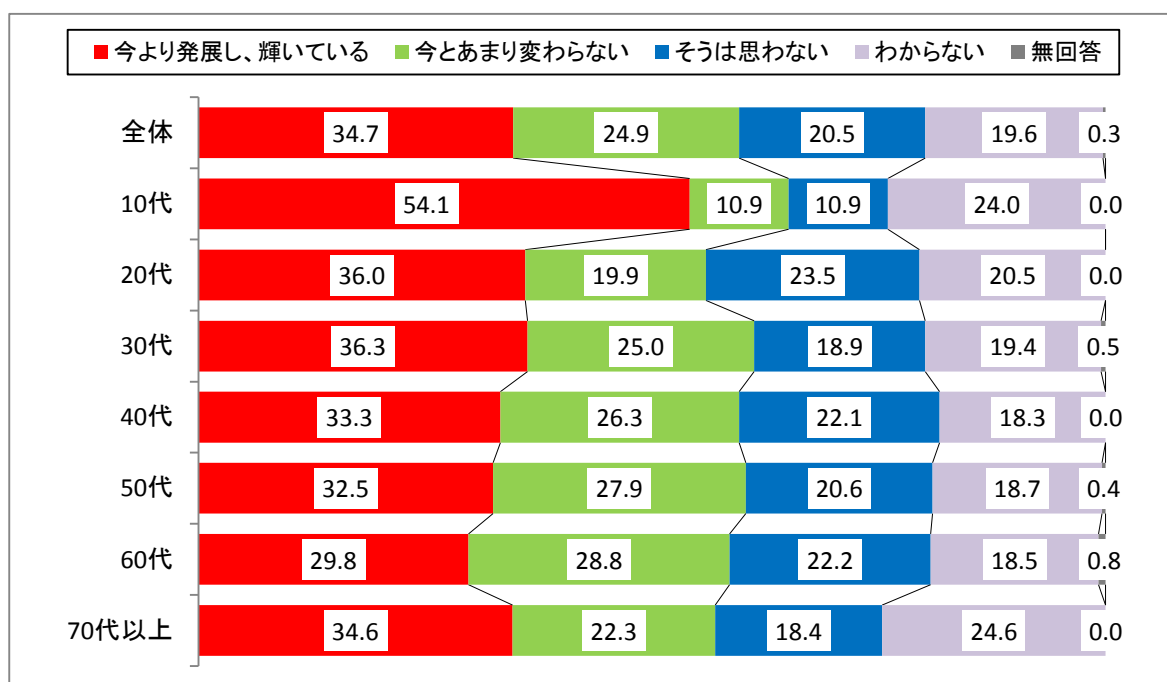


図 1-1-2-4 性別 問 1-2

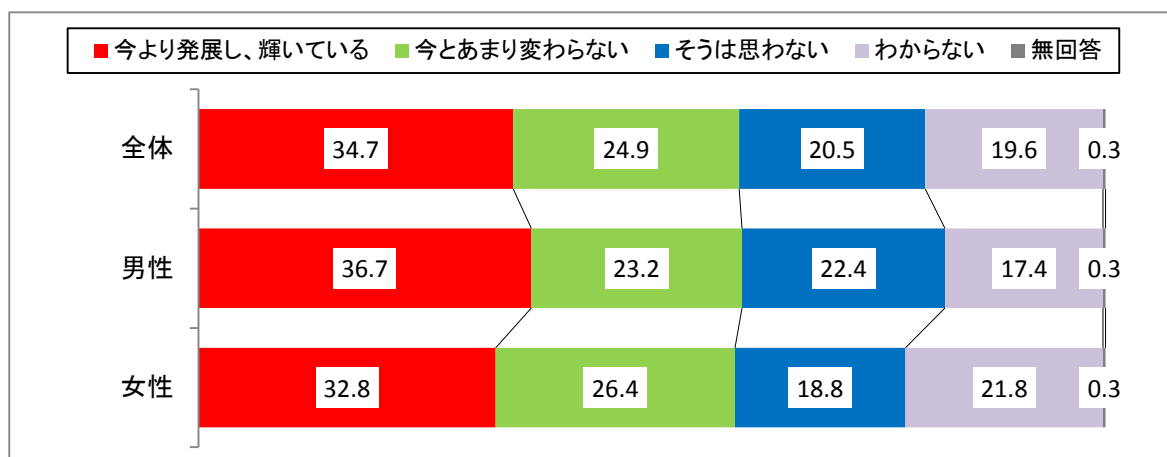
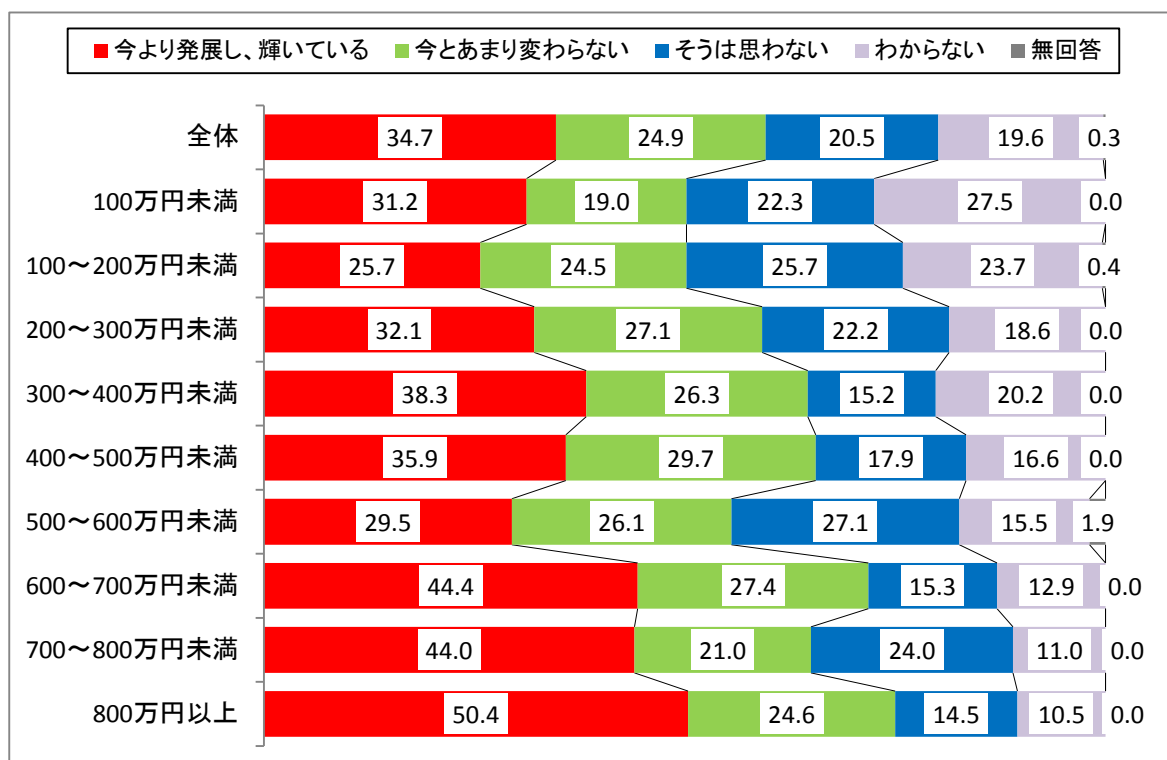


図 1-1-2-5 年収別 問 1-2



(3) 努力すれば人生は変わるか (問 1-3)

努力すれば人生は変わると思うかについて、「そう思う」(48.5%)「どちらかと言えばそう思う」(41.7%)と答えた人が約9割を占めており、県民の前向きな考え方が特徴的である。

前回調査と比較すると、ほとんど変化は見られない。

地域別では、「そう思う」と答えた人の割合は北部で55.9%と高くなっている。

年代別に見ると、「そう思う」と答えた人の割合は10代で68.3%と高くなっている。

年収別に見ると、「そう思う」と答えた人の割合は年収500万円以上の各層で5割後半と高くなっている。一方、「そうは思わない」「どちらかと言えばそう思わない」を合計した割合は、200万円未満の各層で2割前後と高くなっている。

図 1-1-3-1 問 1-3 努力すれば人生は変わるか

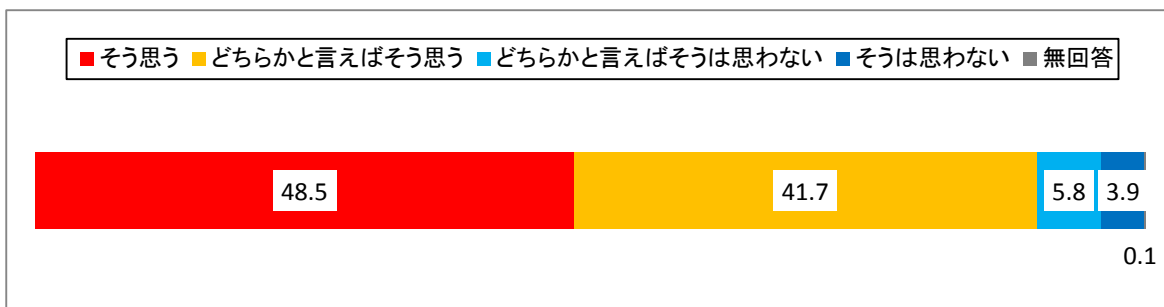


図 1-1-3-2 地域別 問 1-3

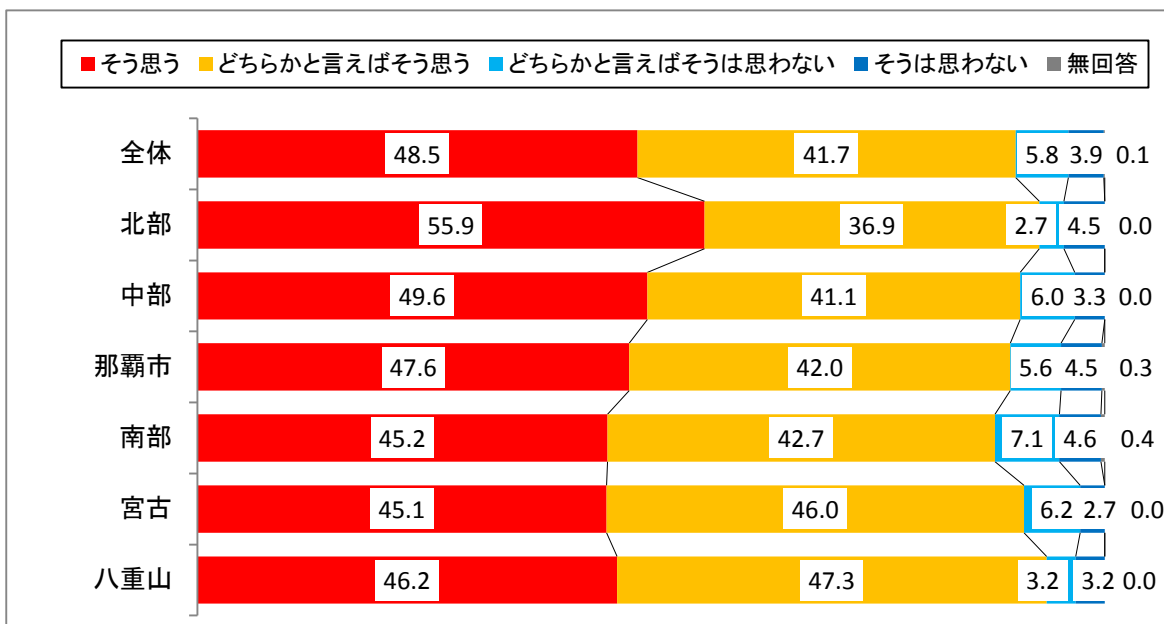


図 1-1-3-3 年代別 問 1-3

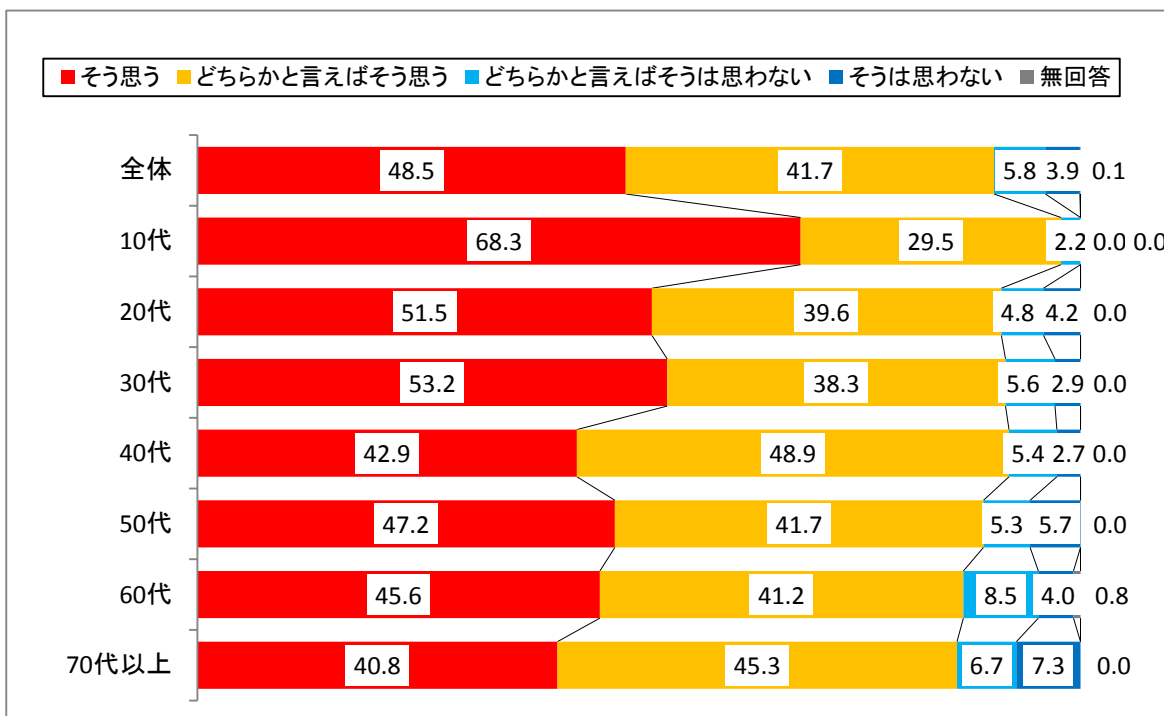


図 1-1-3-4 性別 問 1-3

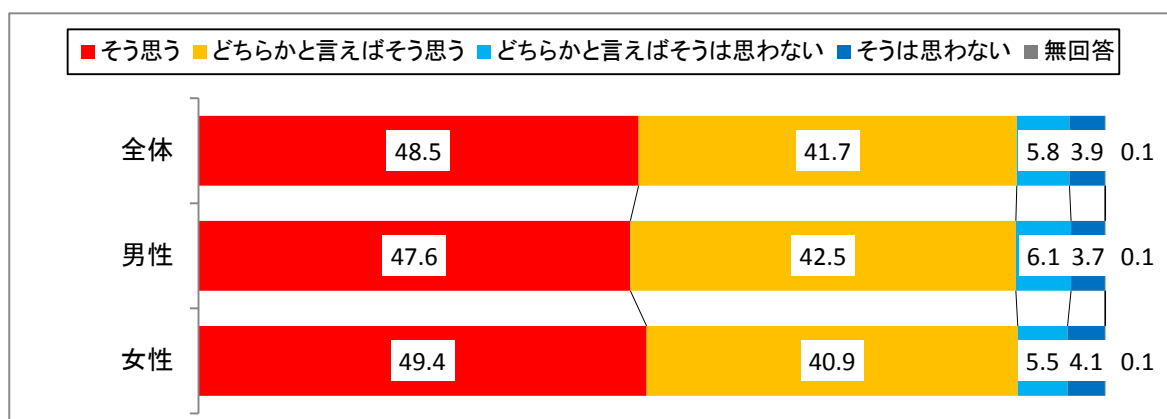
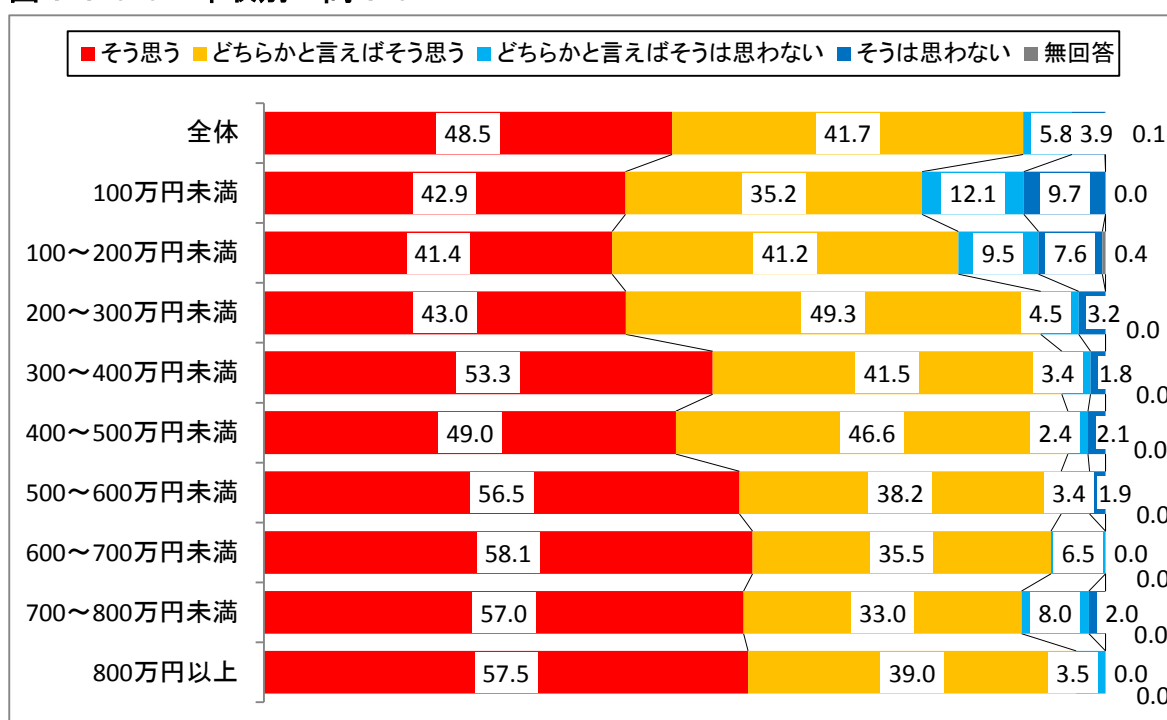


図 1-1-3-5 年収別 問 1-3



(4) 「幸せ」だと感じているか (問 1-4)

今、幸せだと感じているかについて、「幸せと感じている」(37.3%)と「どちらかと言えば感じている」(44.7%)の合計が約8割となっており、県民の幸せ感の高さが特徴的である。「どちらかと言えば感じていない」(11.9%)、「感じていない」(5.7%)を大きく上回っている。

前回調査と比較すると、ほとんど変化は見られない。

年代別に見ると、幸せを「感じている」「どちらかと言えば感じている」の合計は10代と70代以上で高く、「感じていない」「どちらかと言えば感じていない」の合計は60代で、それぞれ高くなっている。

性別に見ると、幸せを「感じている」「どちらかと言えば感じている」の合計は女性で高くなっている。

年収別に見ると、「感じている」と答えた人の割合はおおむね年収に比例する傾向がある。

図 1-1-4-1 問 1-4 「幸せ」だと感じているか

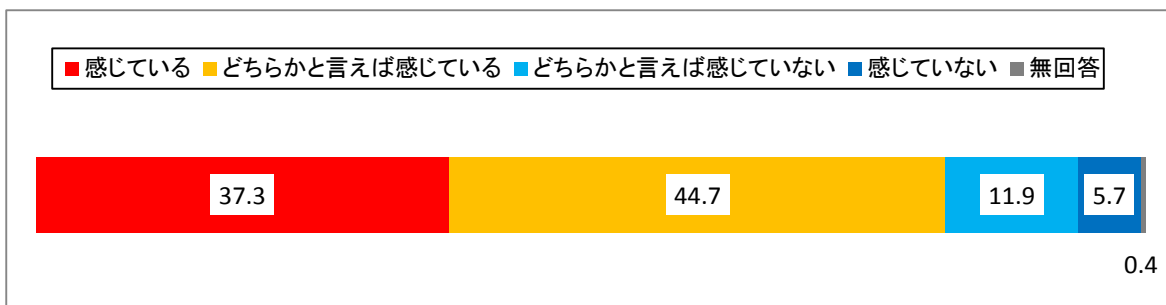


図 1-1-4-2 地域別 問 1-4

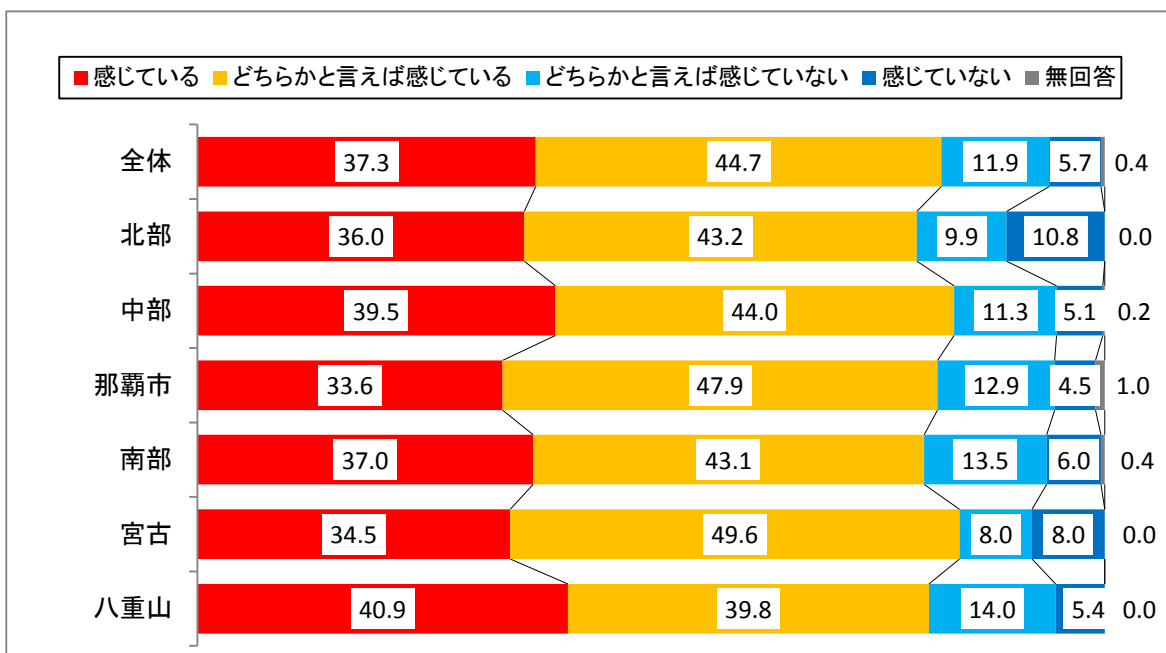


図 1-1-4-3 年代別 問 1-4

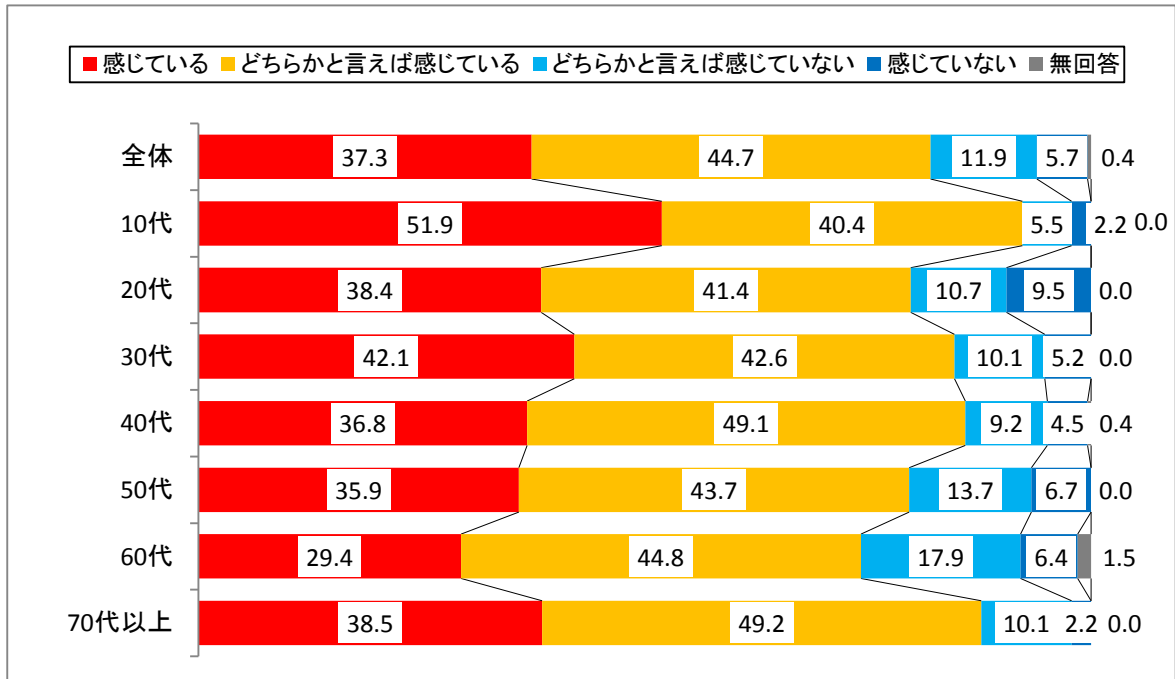


図 1-1-4-4 性別 問 1-4

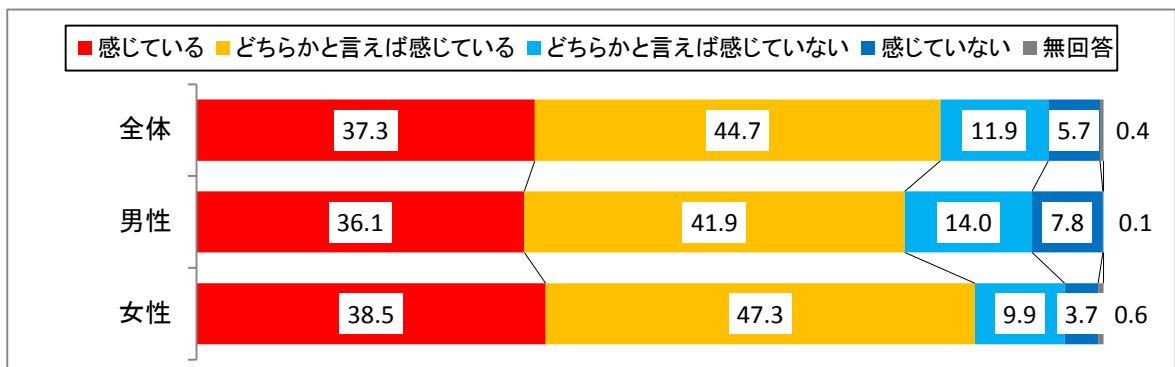
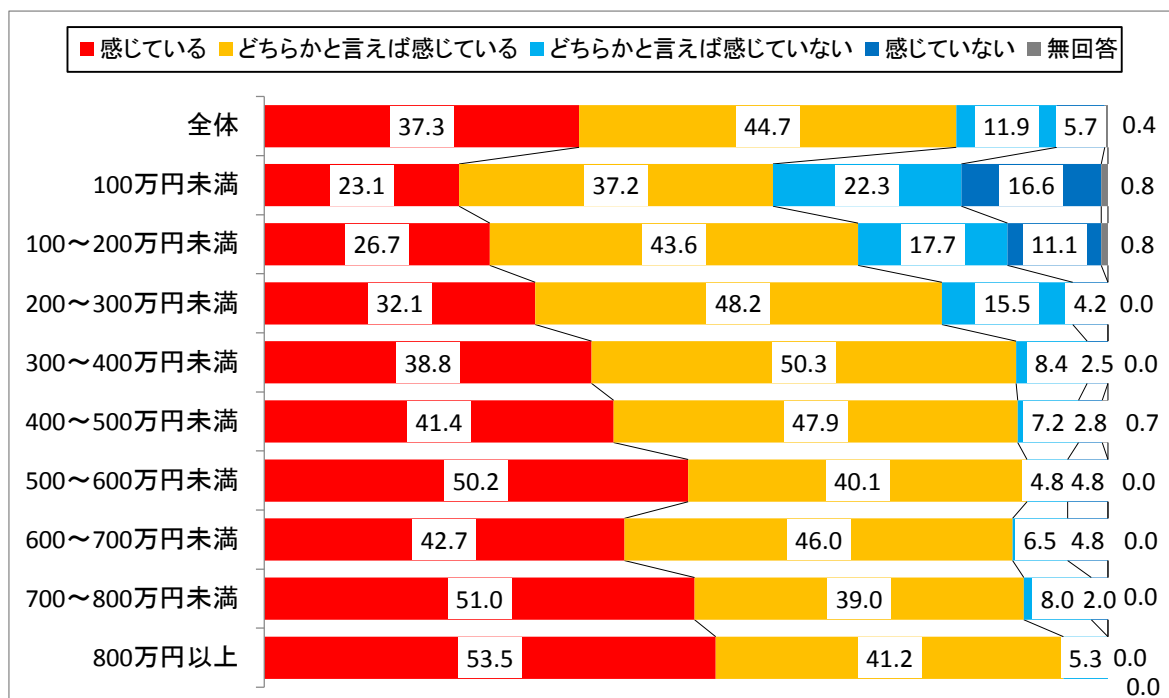


図 1-1-4-5 年収別 問 1-4



(5) 幸せを感じる時 (問 1-5)

人と人のつながりの中で、最も幸せだと感じる時を2つ選択してもらったところ、「家族と一緒にいるとき」(80.3%)と「仲間と一緒にいるとき」(57.3%)の回答が多かった。「自分一人になったとき」が9.7%、「職場の人と一緒にいるとき」が3.9%になっており、比較すると「家族」「仲間」の数値は際立っている。

前回調査と比較すると、「家族と一緒にいるとき」「仲間と一緒にいるとき」の回答が際立って高いことに変わりはないが、「仲間と一緒にいるとき」が前回 62.2%から 4.9ポイント減少している。

地域別に見ると、すべての地域で「家族と一緒にいるとき」「仲間と一緒にいるとき」に回答が集中しているが、「仲間と一緒にいるとき」をあげた人の割合は宮古と八重山で他の地域より低くなっている。

年代別に見ると、「家族と一緒にいるとき」をあげた人の割合は40代で9割弱と他の年代に比べ高くなっている。「仲間と一緒にいるとき」をあげた人の割合は10代で9割弱、20代で7割弱と他の年代より高くなっている。

性別に見ると、「家族と一緒にいるとき」をあげた人の割合は、女性のほうが男性より10ポイント以上高くなっている。

年収別に見ると、年収100万円未満では「家族と一緒にいるとき」「仲間と一緒にいるとき」をあげた人の割合が他の層に比べ低く、「人とのつながりで幸せを感じない」をあげた人の割合がやや高くなっている。

図 1-1-5-1 問 1-5 幸せを感じる時

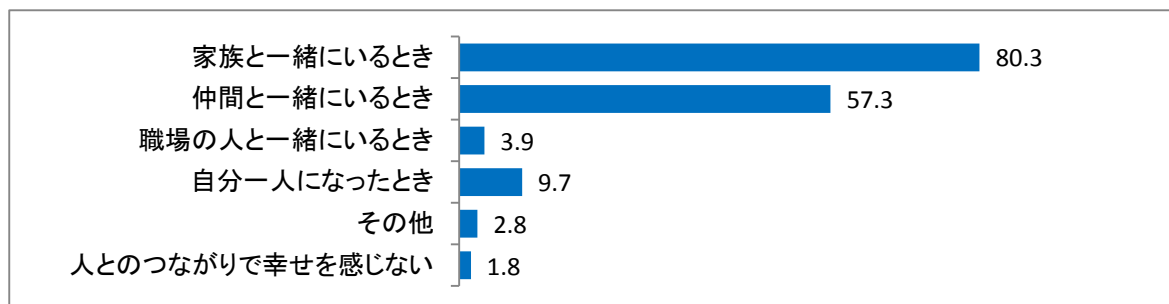


図 1-1-5-2 地域別 問 1-5

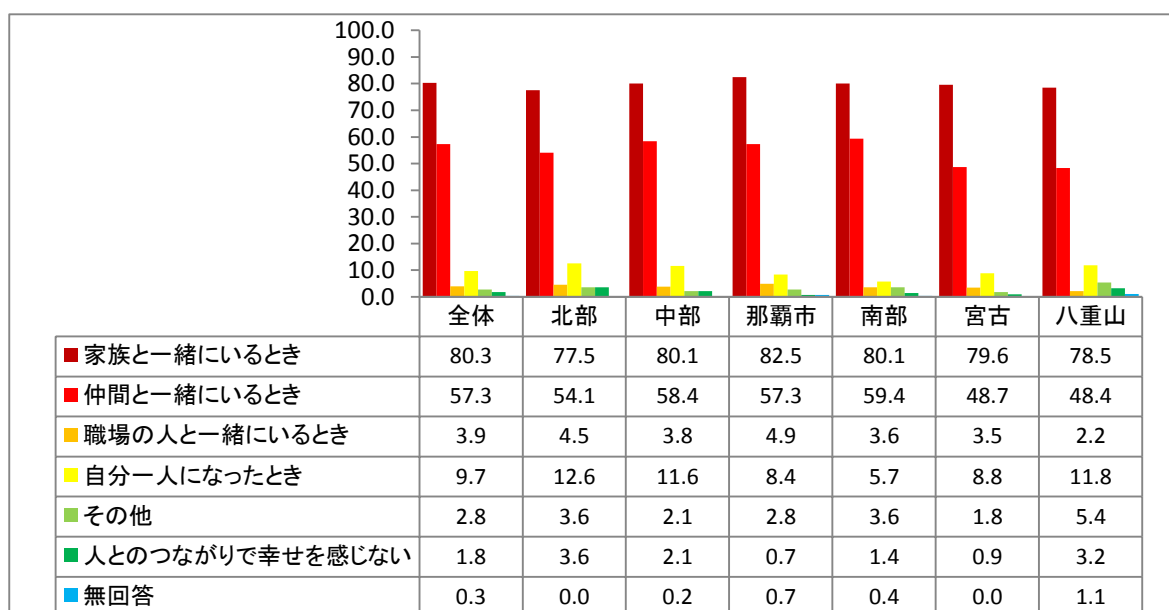


図 1-1-5-3 年代別 問 1-5

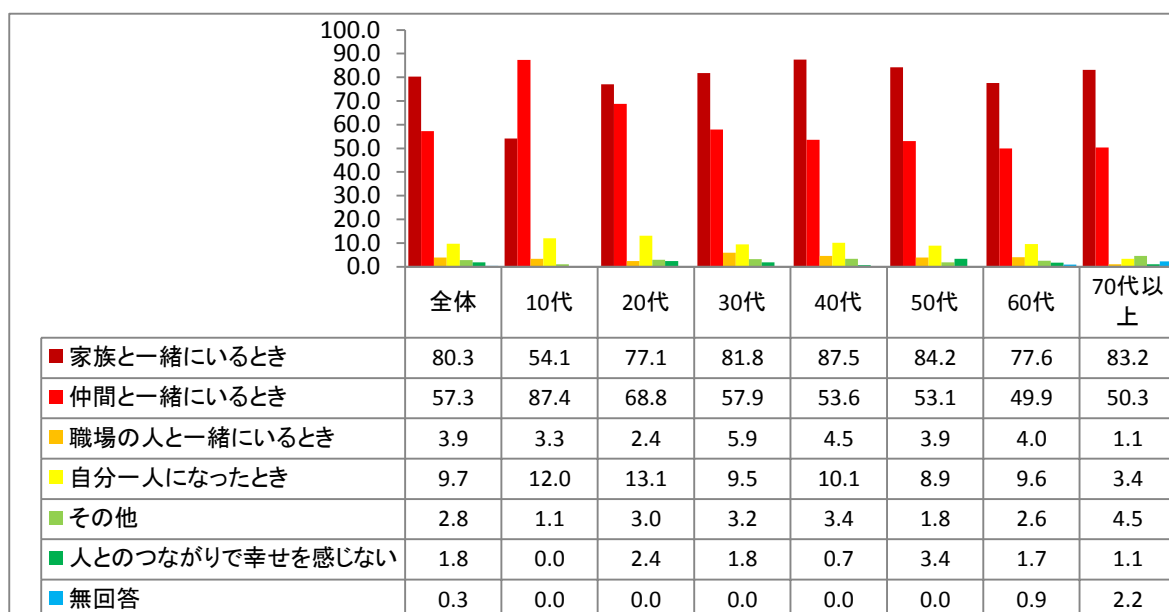


図 1-1-5-4 性別 問 1-5

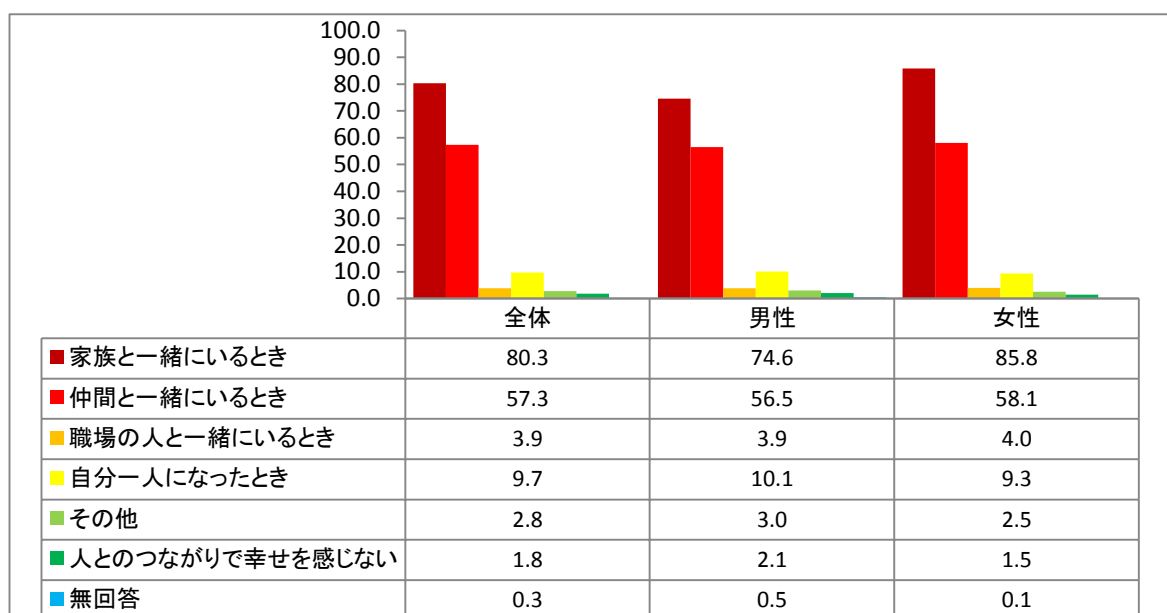
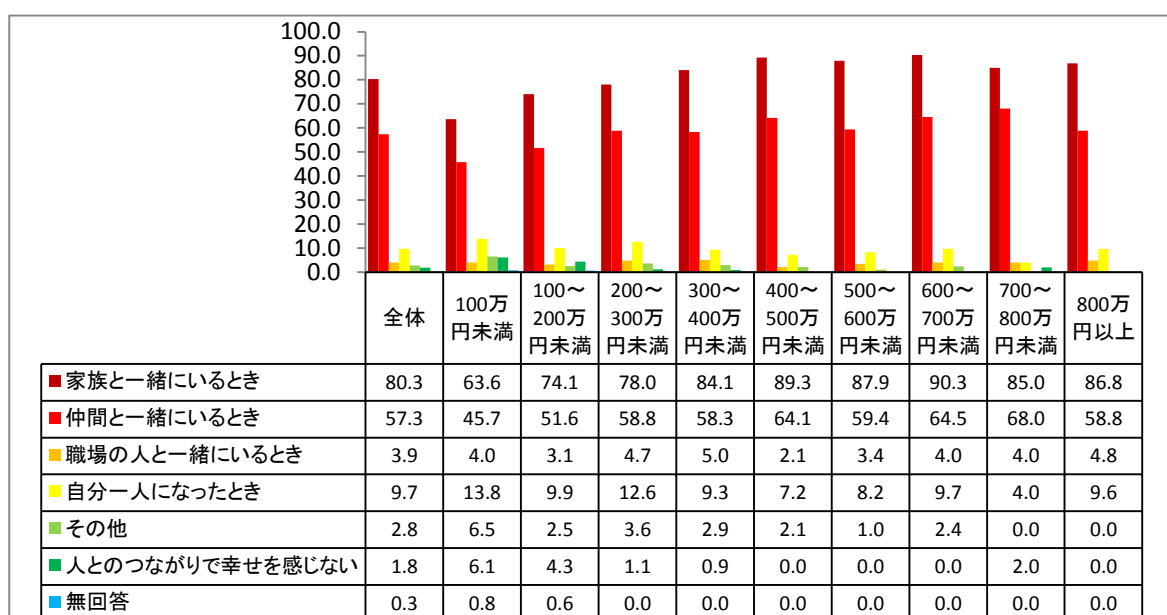


図 1-1-5-5 年収別 問 1-5



(6) 世帯の経済状況 (問 1-6)

今の経済状況について、「かなり余裕がある」と答えた人の割合は 1.1%、「やや余裕がある」は 12.9%、「余裕はないが、生活には困らない」は 48.9%、「やや苦しい」は 23.6%、「かなり苦しい」は 13.0%となっている。

前回調査と比較すると、あまり変化は見られないが、「やや余裕がある」が 11.4%から 1.5 ポイントの増加、「やや苦しい」が 25.2%から 1.6 ポイントの減少となっている。

地域別に見ると、「やや余裕がある」と答えた人の割合は那覇市と南部でやや高い。「やや苦しい」「かなり苦しい」と答えた人の合計は、八重山で 4 割強と他の地域に比べ高くなっている。

年代別に見ると、「やや余裕がある」と答えた人の割合は10代で、「かなり苦しい」と答えた人の割合は40代で、それぞれ高くなっている。

年収別に見ると、「かなり余裕がある」と答えた人の割合は年収700万円以上の各層で高くなり、「やや余裕がある」と答えた人の割合は概して年収が高いほど高くなる傾向が見られる。「余裕はないが、生活には困らない」と答えた人の割合は300～400万円未満、500～700万円未満の各層で6割近くを占めている。「やや苦しい」「かなり苦しい」と答えた人の合計はおおむね年収が低いほど割合が高くなり、200万円未満の各層では5割を超える。

図 1-1-6-1 問 1-6 世帯の経済状況

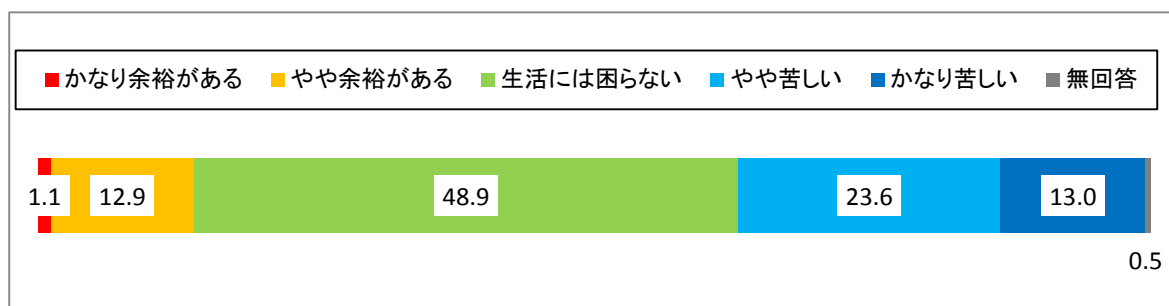


図 1-1-6-2 地域別 問 1-6

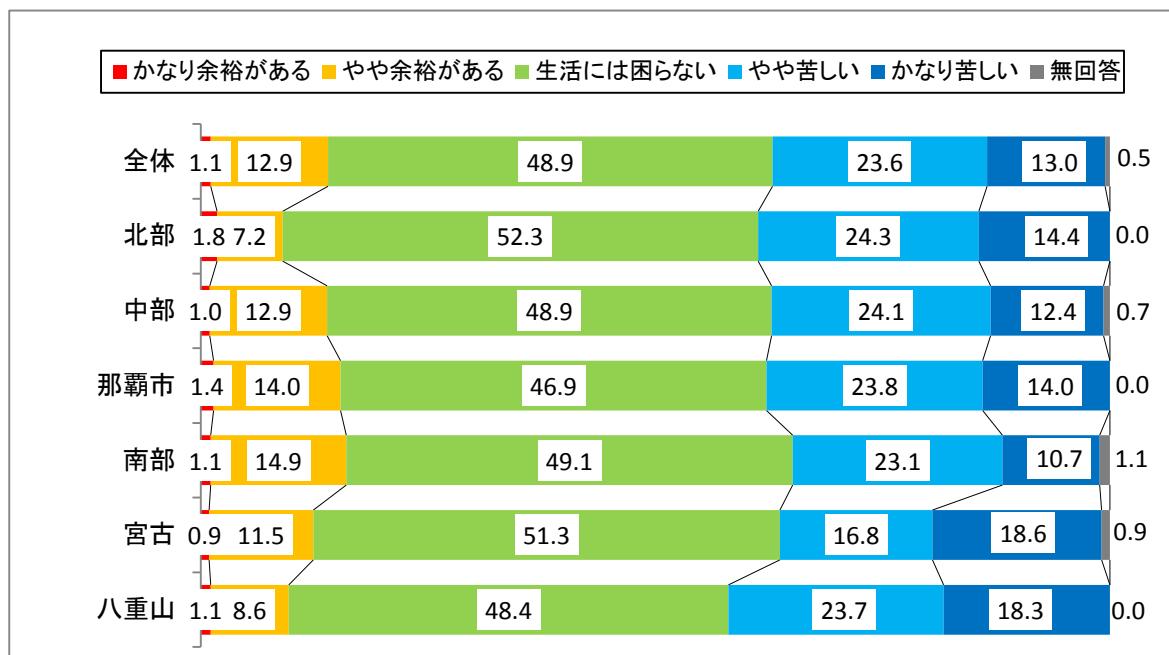


図 1-1-6-3 年代別 問 1-6

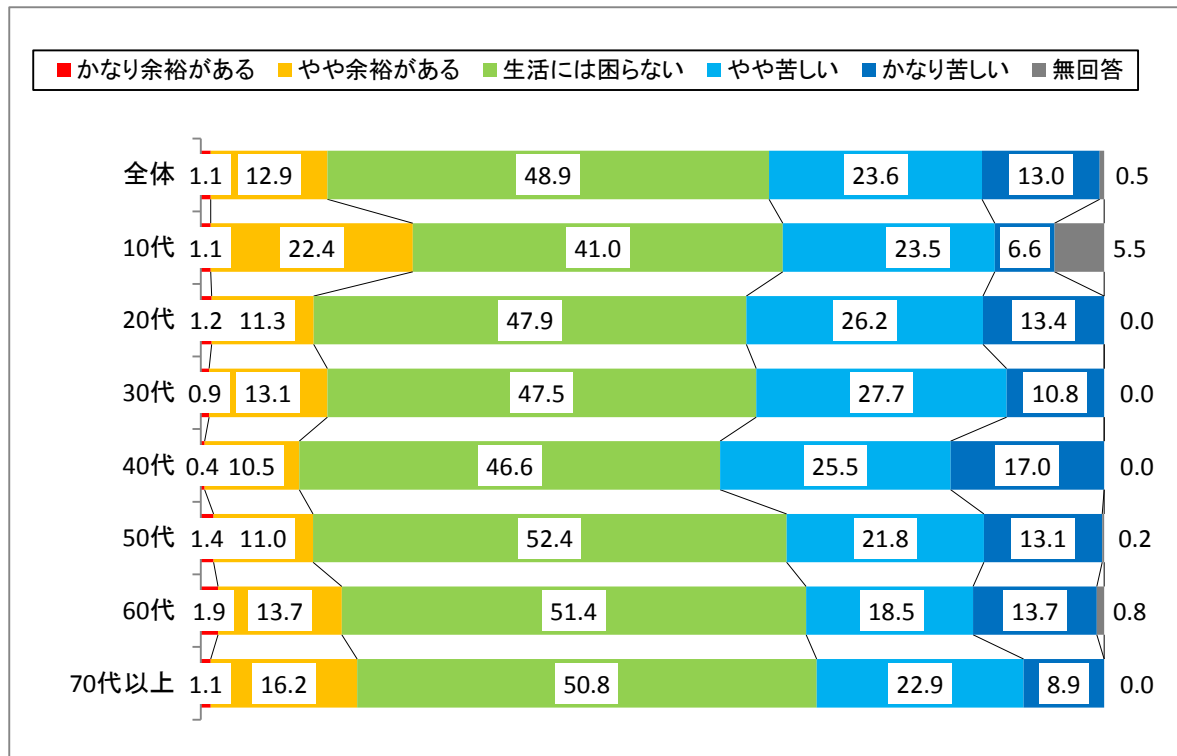


図 1-1-6-4 性別 問 1-6

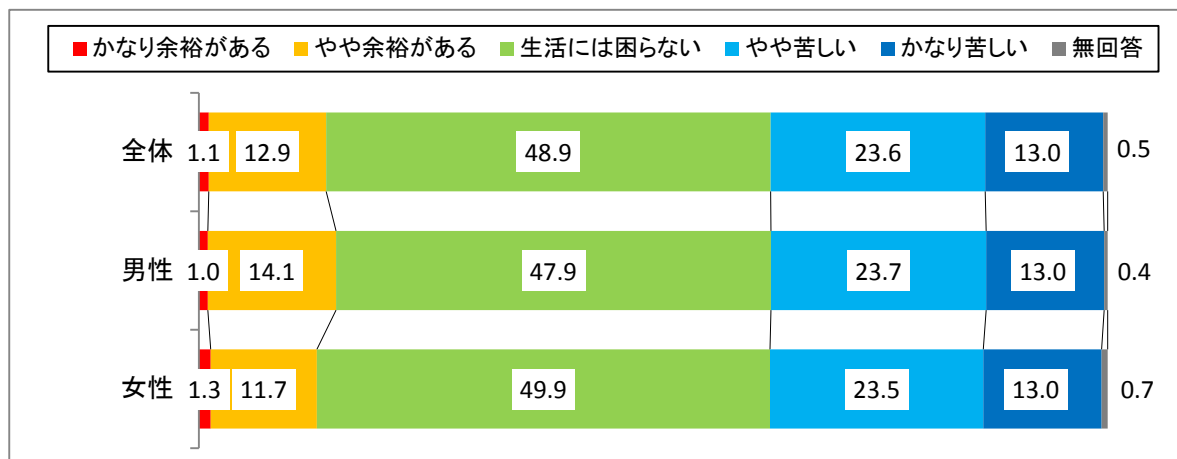
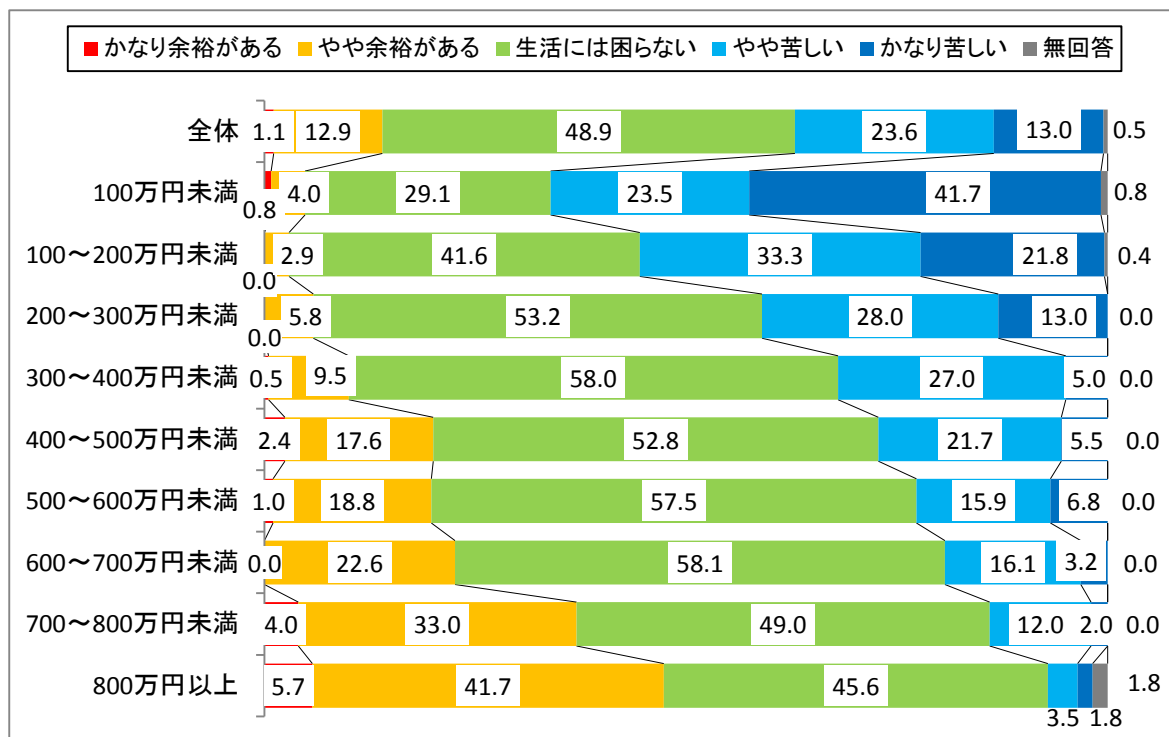


図 1-1-6-5 年収別 問 1-6



(7) 仕事への満足度 (問 1-7)

就労している今の仕事に満足しているかどうかについて、「満足している」(14.6%) 「どちらかと言えば満足している」(30.2%) と答えた人の合計が 44.7% に対し、「どちらかと言えば満足していない」(17.7%)、「満足していない」(6.9%) と答えた人の合計は 24.6% である。なお、「無回答」が 30.6% あるが、本質問は就労している人へのみ回答を求めているので、定年退職者、専業主婦(夫)、学生などが「無回答」に含まれる。

年代別に見ると、「満足している」とする人の割合は 30 代から 50 代で、「満足していない」とする人の割合は 20 代でそれぞれ高くなっている。

性別に見ると、「満足していない」とする人の割合は男性で高くなっている。

年収別に見ると、「満足している」とする人の割合は年収 600 万円以上の各層で、「満足していない」とする人の割合は 100～200 万円未満で、それぞれ高くなっている。

図 1-1-7-1 問 1-7 仕事への満足度

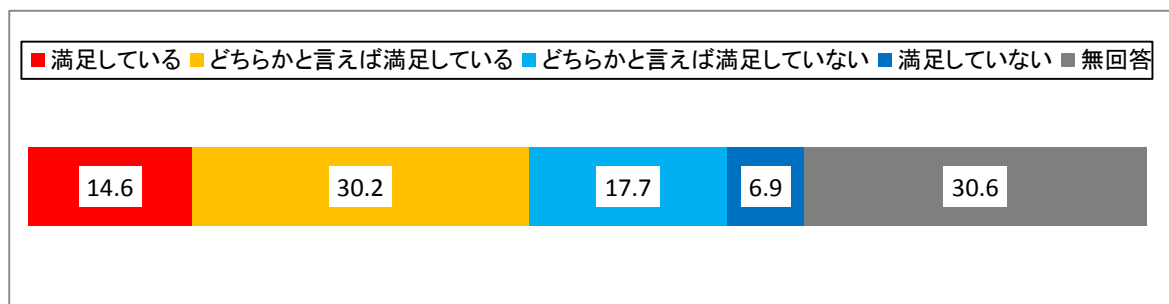


図 1-1-7-2 地域別 問 1-7

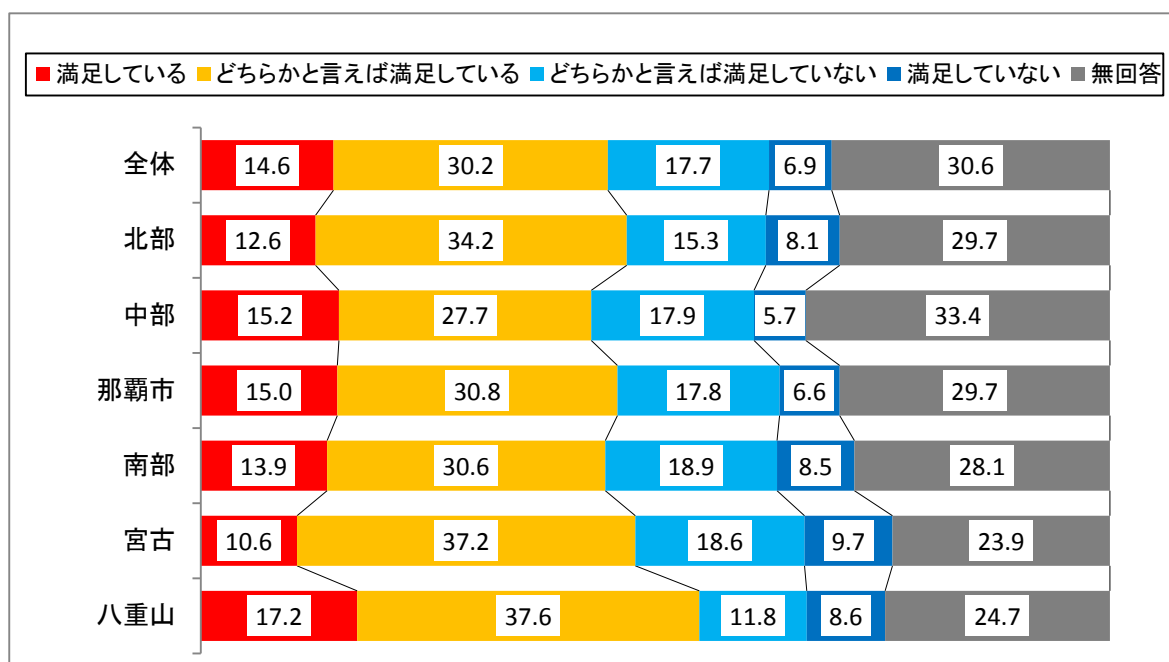


図 1-1-7-3 年代別 問 1-7

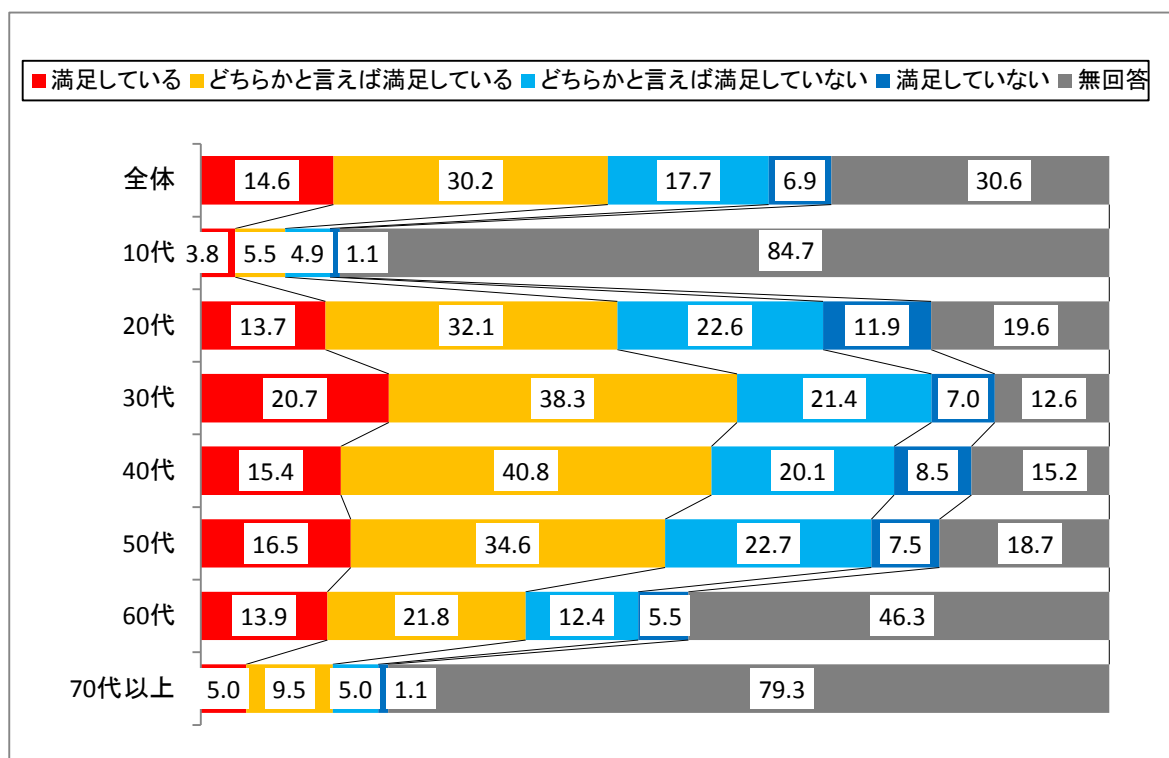


図 1-1-7-4 性別 問 1-7

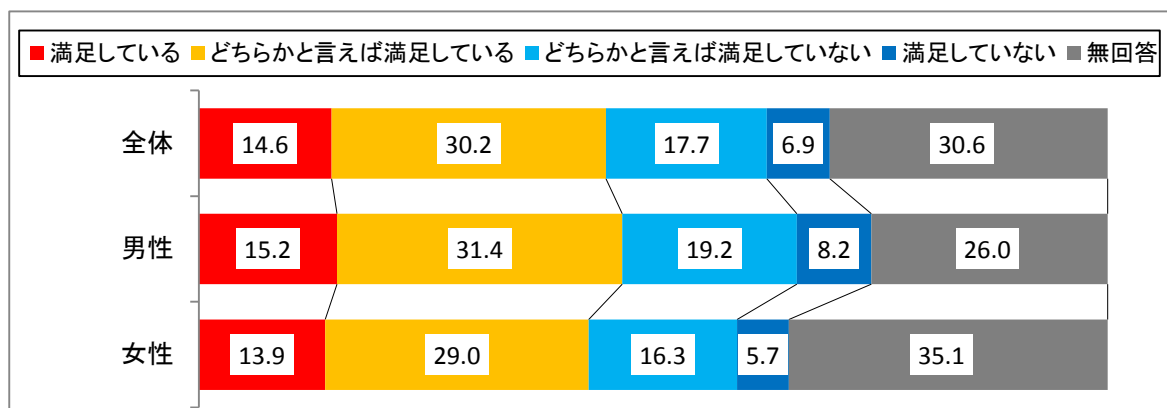
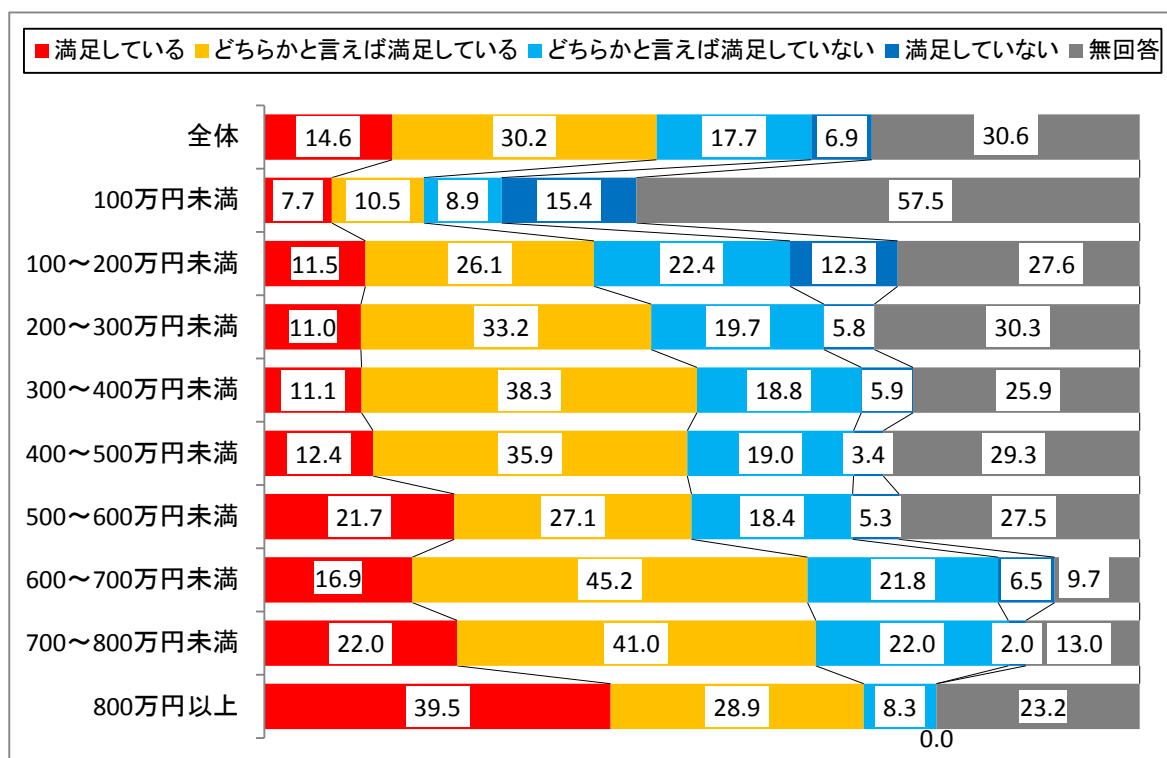


図 1-1-7-5 年収別 問 1-7



(8) 家族との関係 (問 1-8)

家族との関係は良好だと思うかについて、「非常に良好だと思う」(35.7%)と「どちらかと言えば良好だと思う」(54.9%)の合計は9割を超える。そうではないと感じている人は1割弱である。

前回調査と比較すると、約9割が良好だと思っていることに変わりはないが、そのうち、「非常に良好だと思う」は前回38.4%から2.7ポイント減少し、「どちらかと言えば良好だと思う」は前回51.3%から3.6ポイント増加している。

地域別に見ると、「非常に良好だと思う」人の割合は八重山で目立って高い。「どちらかと言えば良好ではない」「良好ではない」と答えた人の合計は北部で高くなっている。

年代別に見ると、「非常に良好だと思う」人の割合は40代以下に比べ50代以上の

年代で低くなり2割台にとどまっている。「どちらかと言えば良好ではない」「良好ではない」と答えた人の合計は60代で高くなっている。

性別に見ると、「非常に良好だと思う」と答えた人の割合は、女性のほうが男性より6.0ポイント高くなっている。

年収別に見ると、「どちらかと言えば良好ではない」「良好ではない」と答えた人の合計は100万円未満で高くなっている。

図 1-1-8-1 問 1-8 家族との関係

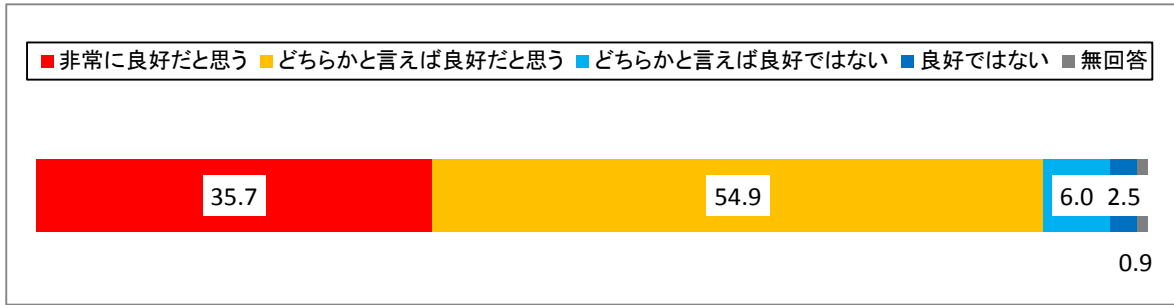


図 1-1-8-2 地域別 問 1-8

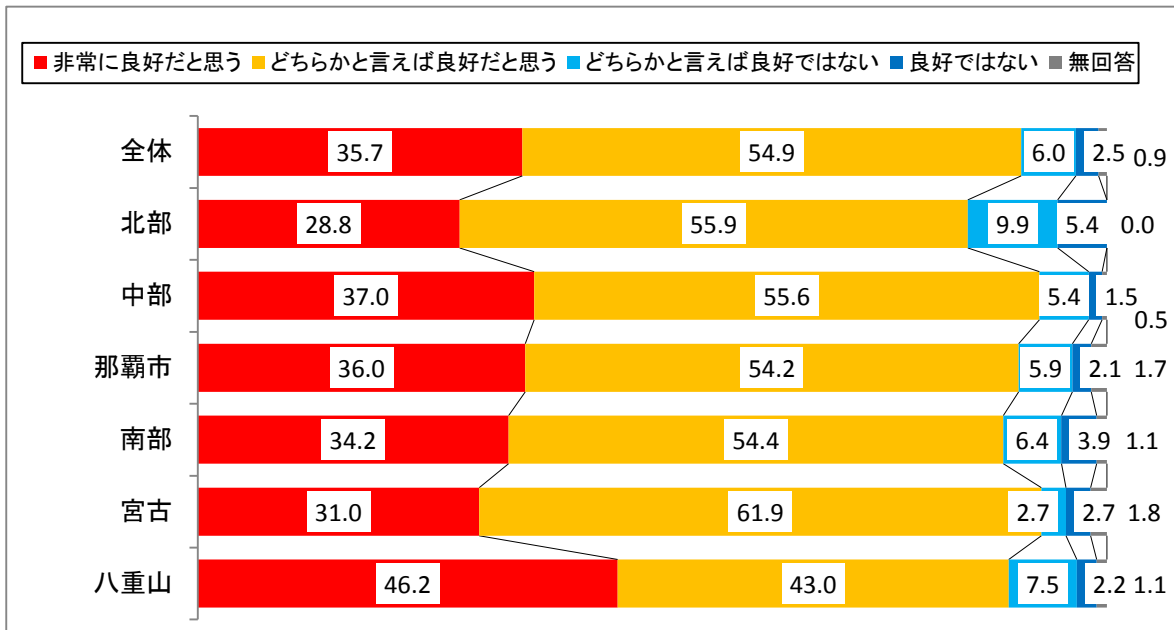


図 1-1-8-3 年代別 問 1-8

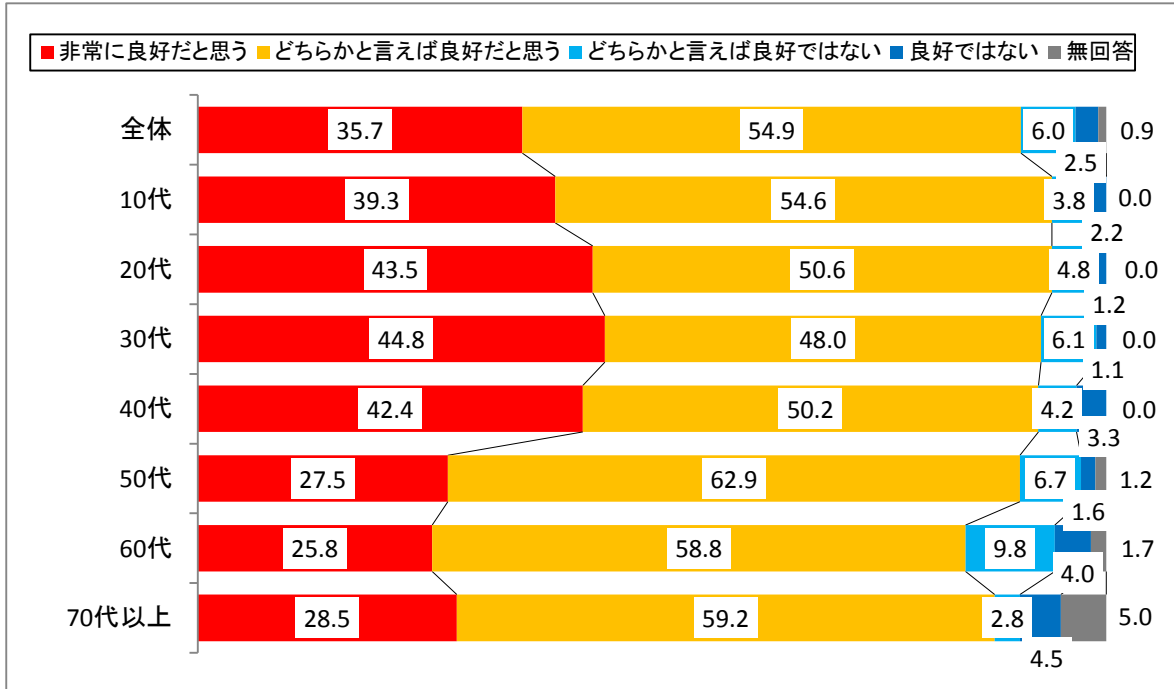


図 1-1-8-4 性別 問 1-8

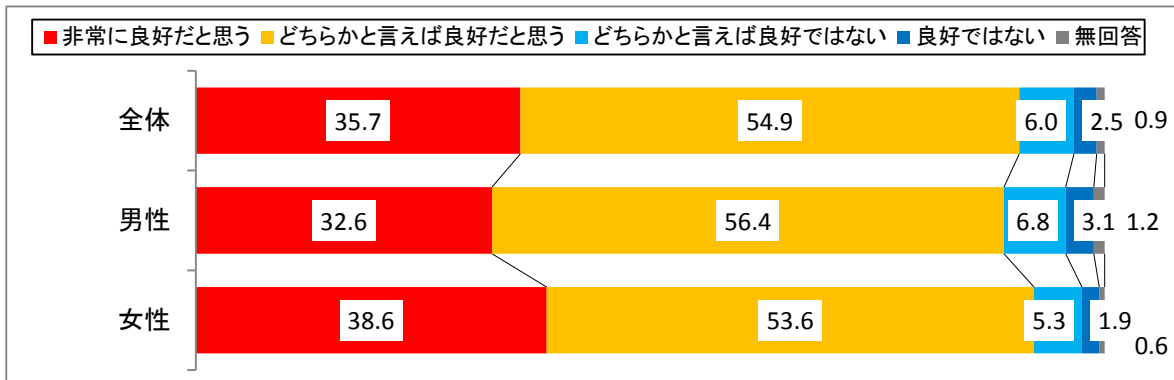
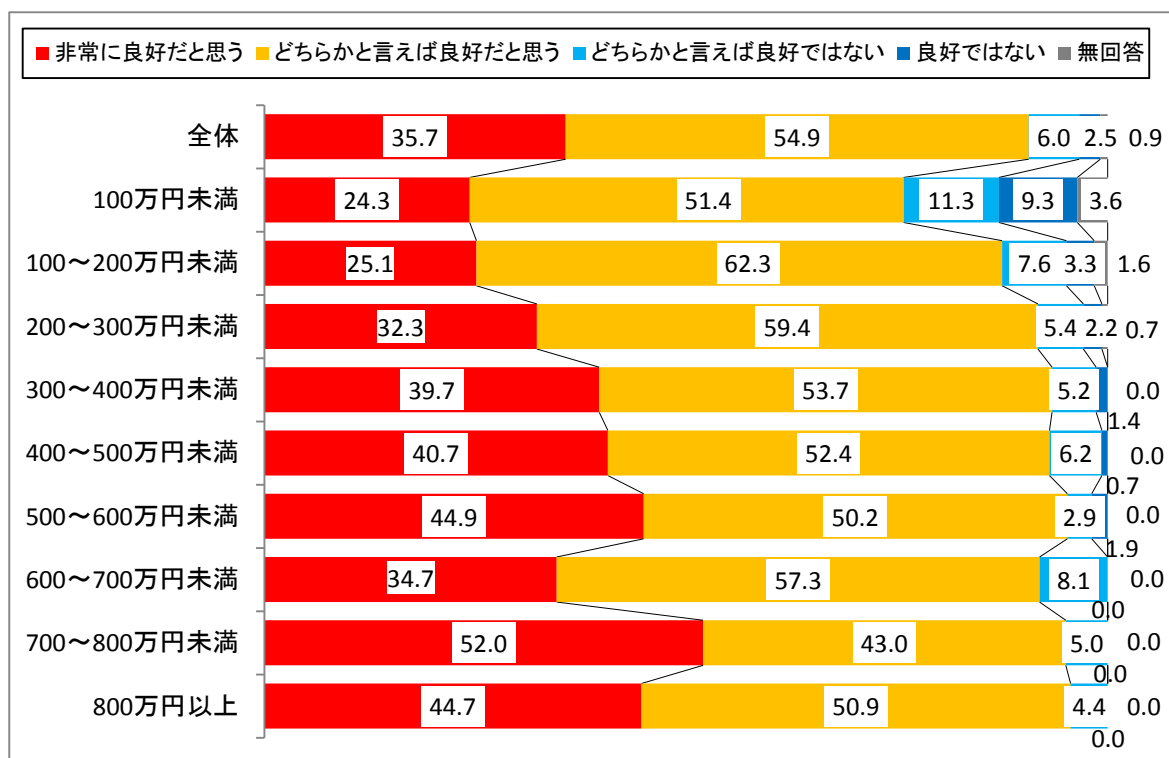


図 1-1-8-5 年収別 問 1-8



(9) 健康状態 (問 1-9)

健康と思うかについて、「大変健康である」(22.0%)、「まあまあ健康である」(61.3%)と答えた人の合計は8割を超えるのに対し、健康に不安をかかえている人の合計は約17%である。

前回調査と比較すると、「大変健康である」「まあまあ健康である」と答えた人の合計は変わらないが、そのうち、「大変健康である」が前回24.0%から2.0ポイント減少し、「まあまあ健康である」が前回58.9%から2.4ポイント増加している。

年代別に見ると、「大変健康である」「まあまあ健康である」と答えた人の合計は年代が低いほど高く、対して「あまり健康ではない」「健康ではない」と答えた人の合計は年代が上がるほど割合が高くなっている。

年収別に見ると、「あまり健康ではない」「健康ではない」と答えた人の合計は100万円未満で高くなっている。

図 1-1-9-1 問 1-9 健康状態

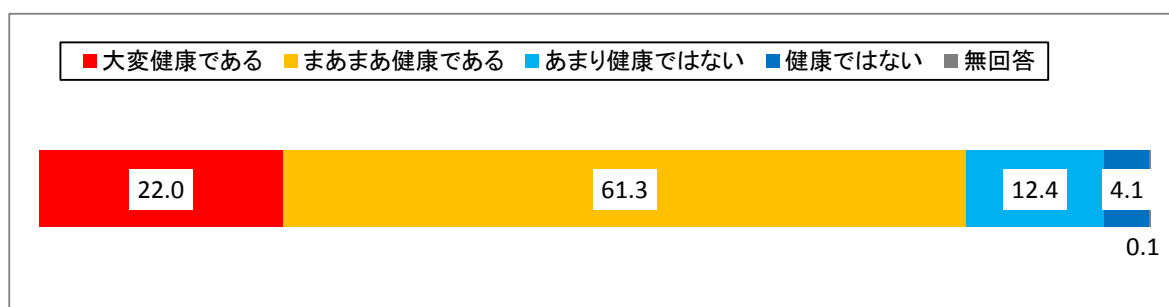


図 1-1-9-2 地域別 問 1-9

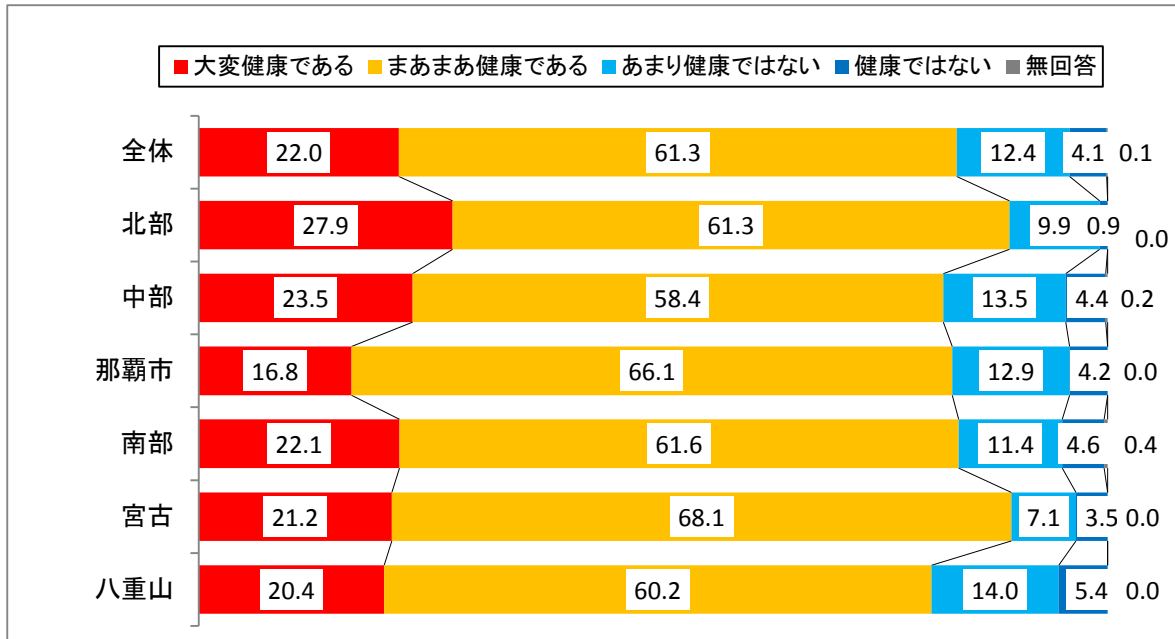


図 1-1-9-3 年代別 問 1-9

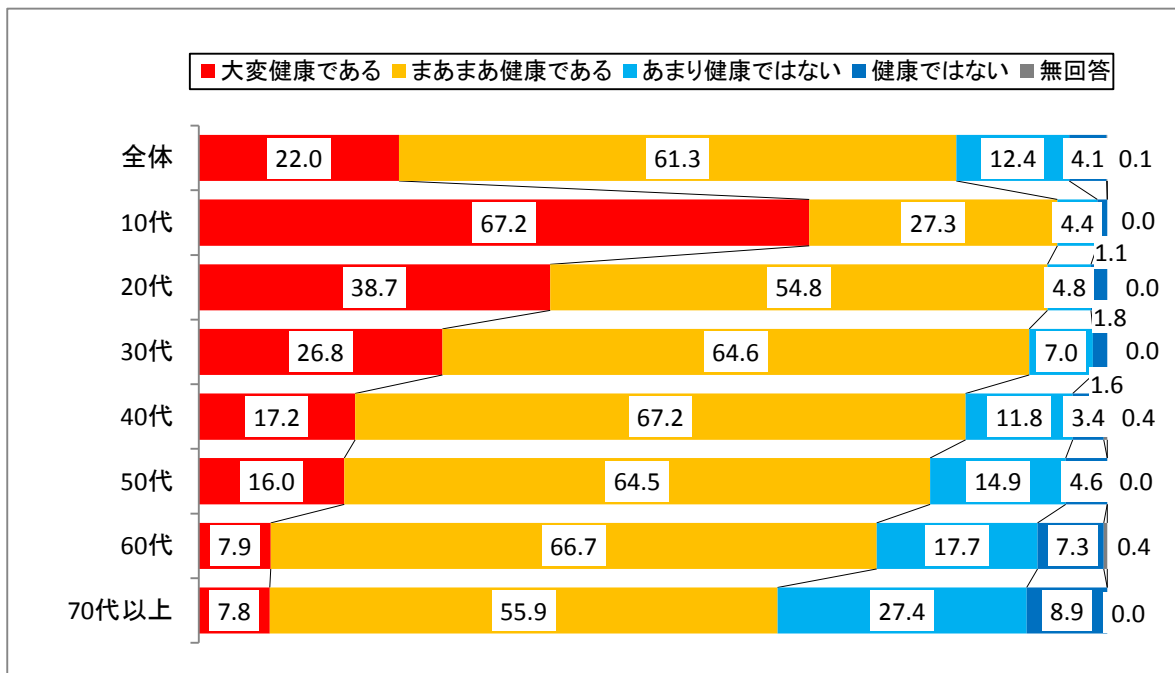


図 1-1-9-4 性別 問 1-9

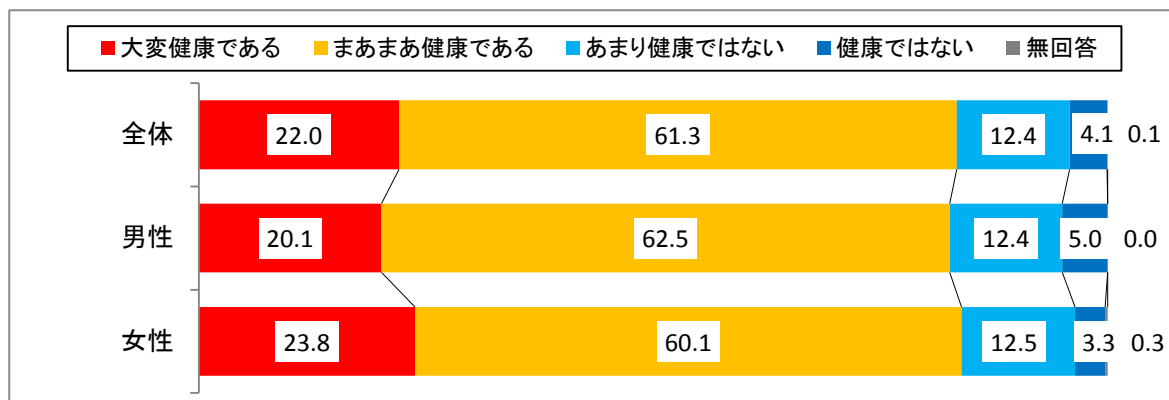
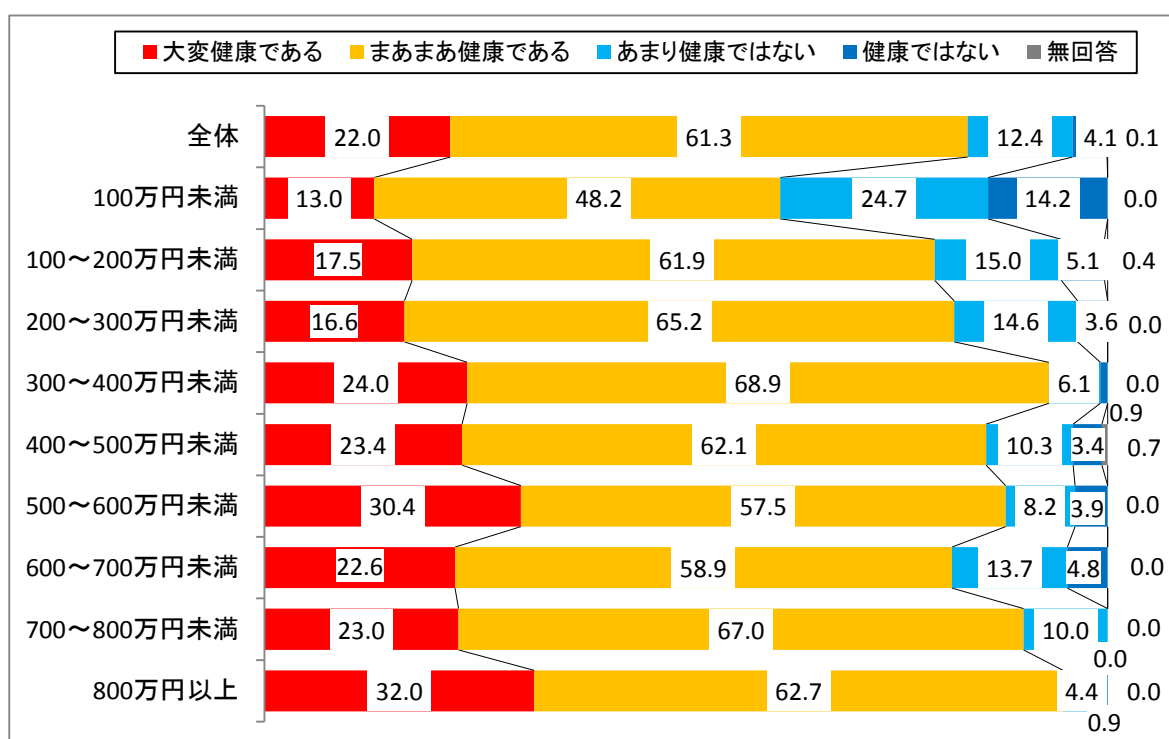


図 1-1-9-5 年収別 問 1-9



(10) 住まいへの満足度 (問 1-10)

現在の住まいは生活していくうえで十分だと思うかについて、「十分だと思う」(38.1%)「まあまあ十分だと思う」(38.8%)と答えた人の合計は7割を超えるのに対し、「やや不十分」「不十分」と思う人は約23%である。

前回調査と比較すると、あまり変化は見られない。

地域別に見ると、「十分だと思う」「まあまあ十分だと思う」人の合計は宮古と八重山で高く、中でも「十分だと思う」の割合は八重山で高い。「やや不十分」「不十分」と思う人の合計は那覇市で高くなっている。

年代別に見ると、「十分だと思う」と答えた人の割合は10代で6割強と突出している。

年収別に見ると、「十分だと思う」と答えた人の割合は年収に比例して高くなる傾向がある。

図 1-1-10-1 問 1-10 住まいへの満足度

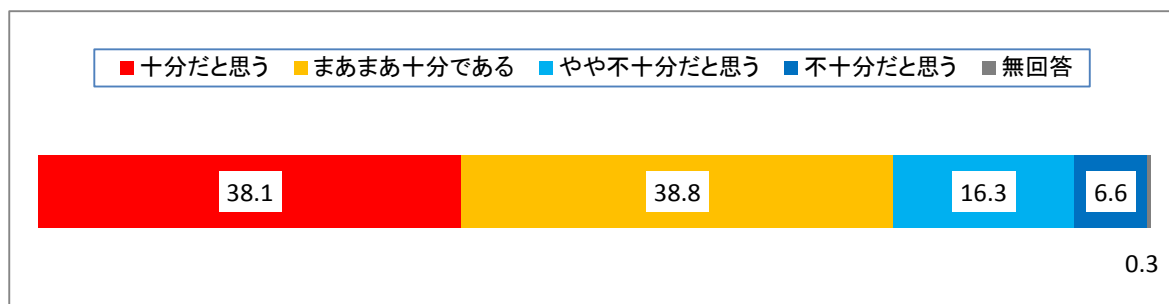


図 1-1-10-2 地域別 問 1-10

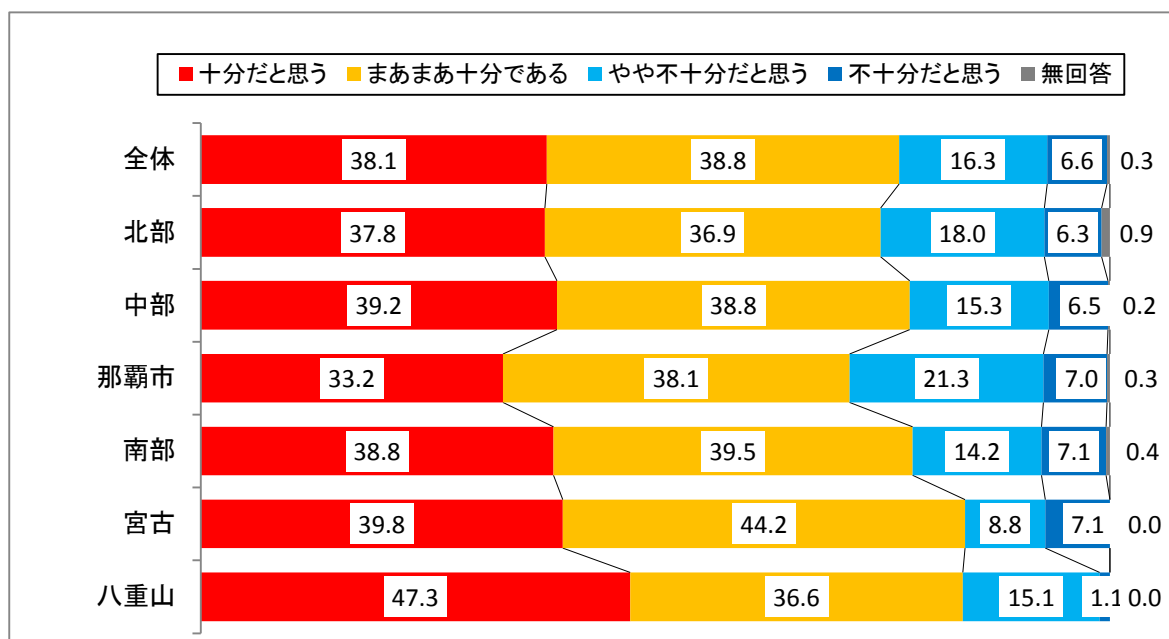


図 1-1-10-3 年代別 問 1-10

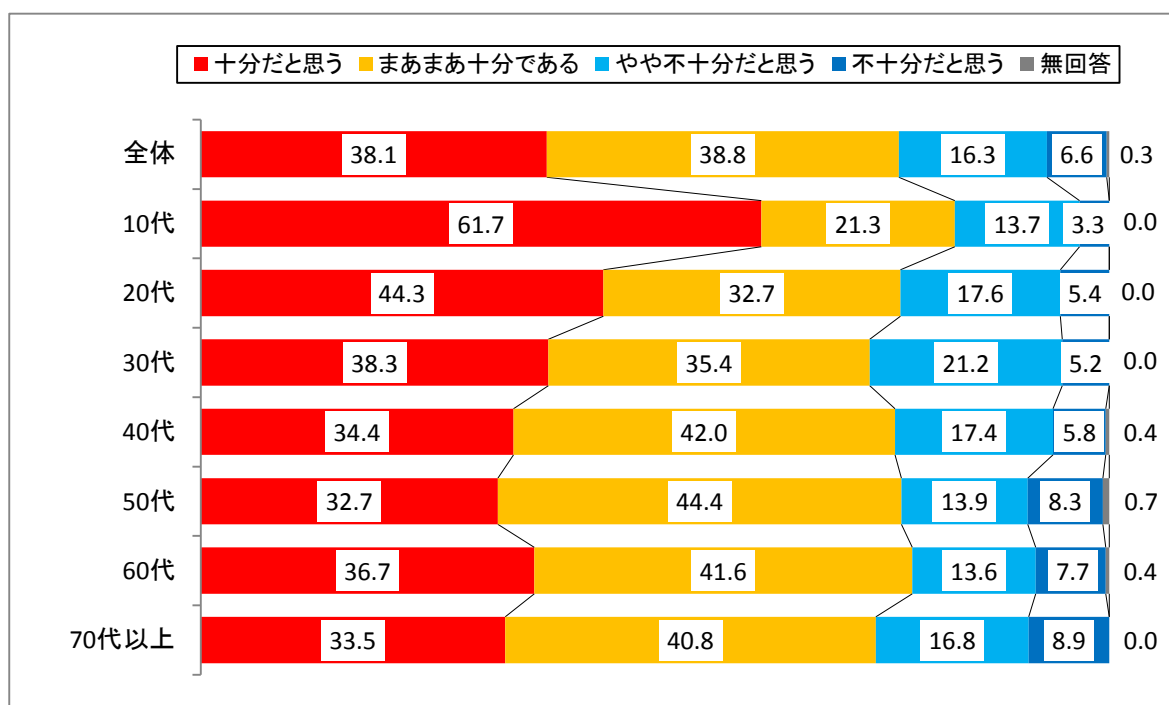


図 1-1-10-4 性別 問 1-10

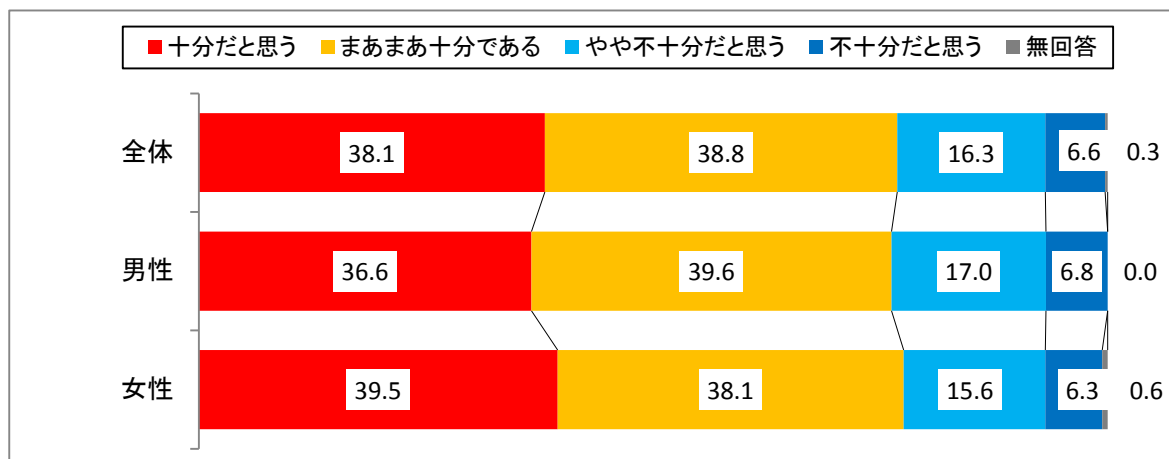
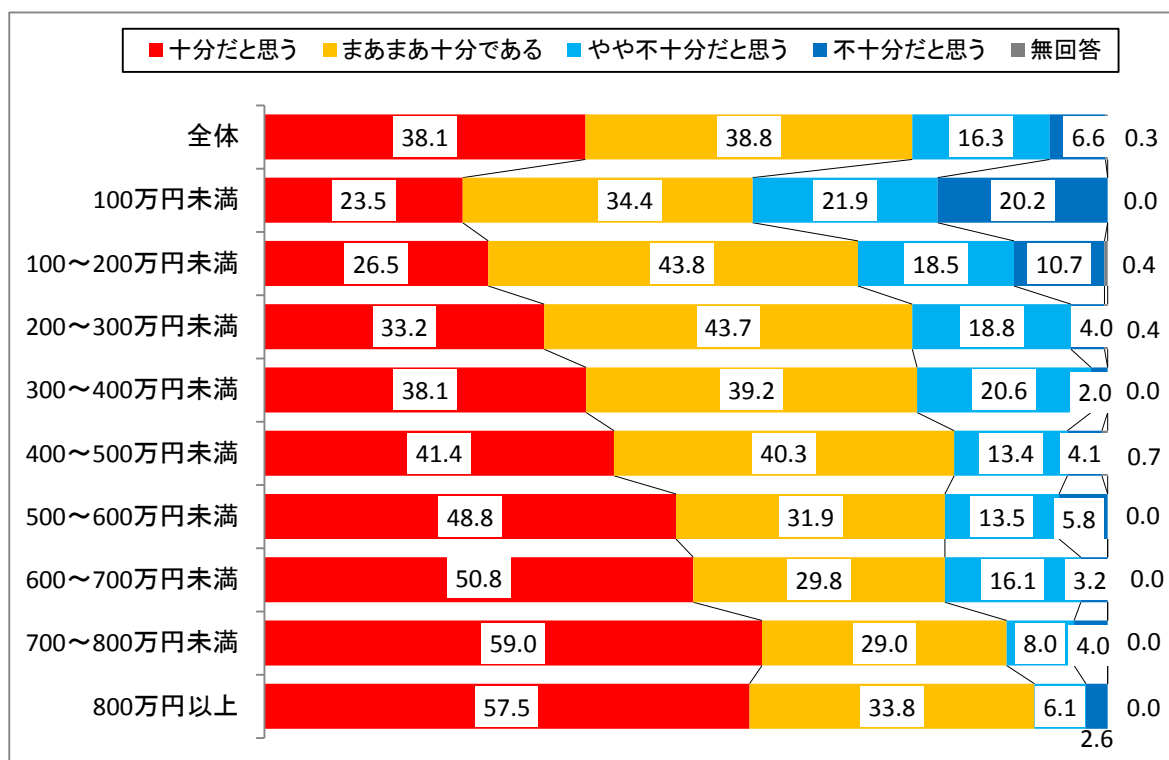


図 1-1-10-5 年収別 問 1-10



(11) 生きがい (問 1-11)

生きがいに行っていることがあるかについて、「大いにある」(30.7%)、「少しある」(40.3%)と答えた人の合計が約7割であるのに対し、「ほとんどない」(7.4%)、「まったくない」(2.7%)と答えた人の合計は約1割である。

前回調査と比較すると、「大いにある」が前回 28.8%から 1.9ポイント増加しているが、あまり変化は見られない。

年代別に見ると、「大いにある」人の割合は10代で高くなっている。

年収別に見ると、「大いにある」人の割合は年収 700 万円以上の各層で高くなっている。

図 1-1-11-1 問 1-11 生きがい

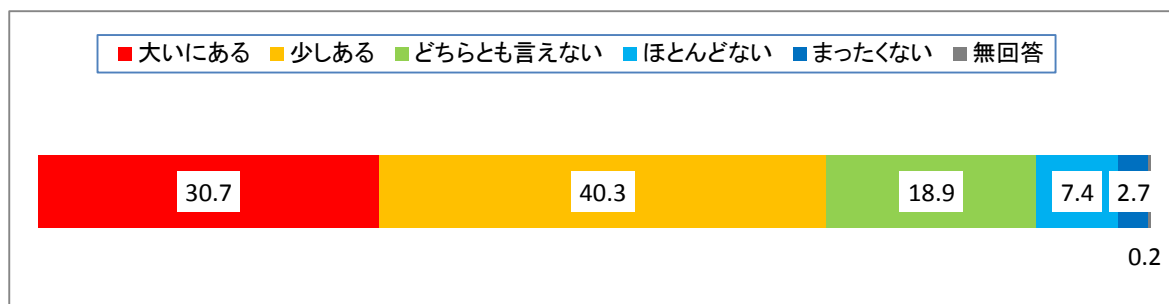


図 1-1-11-2 地域別 問 1-11

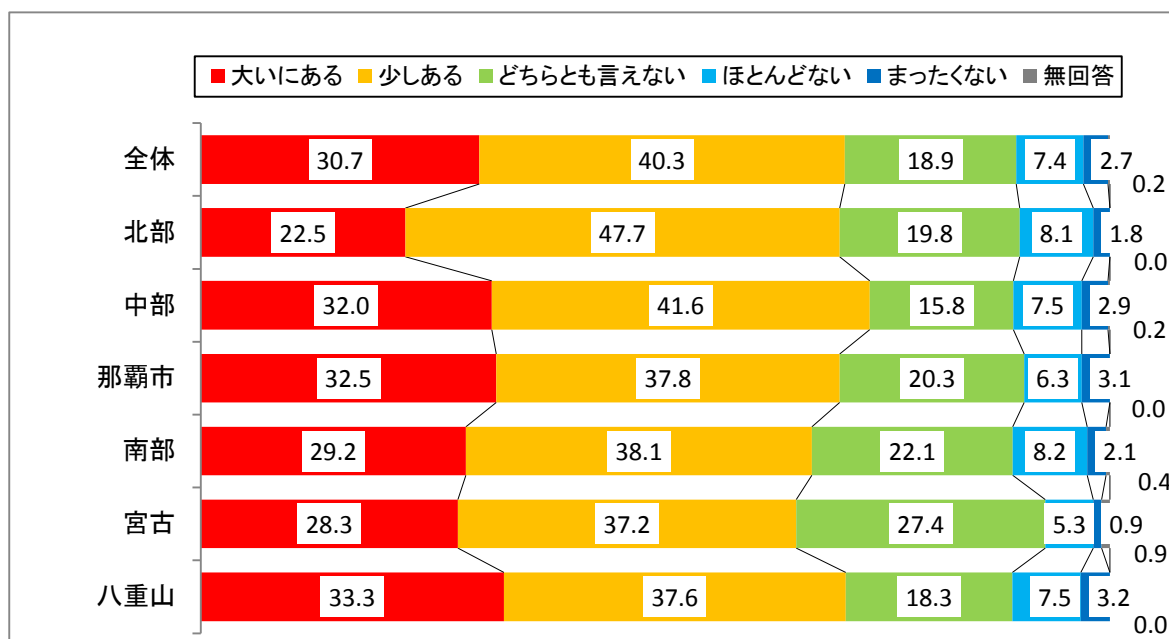


図 1-1-11-3 年代別 問 1-11

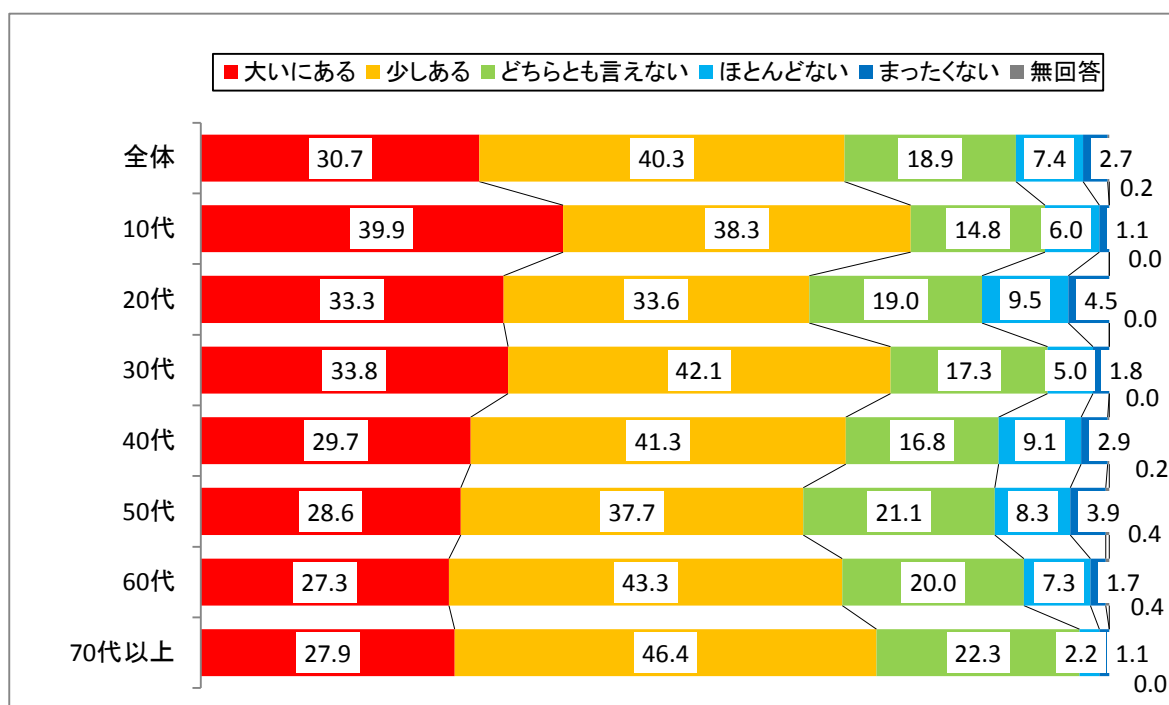


図 1-1-11-4 性別 問 1-11

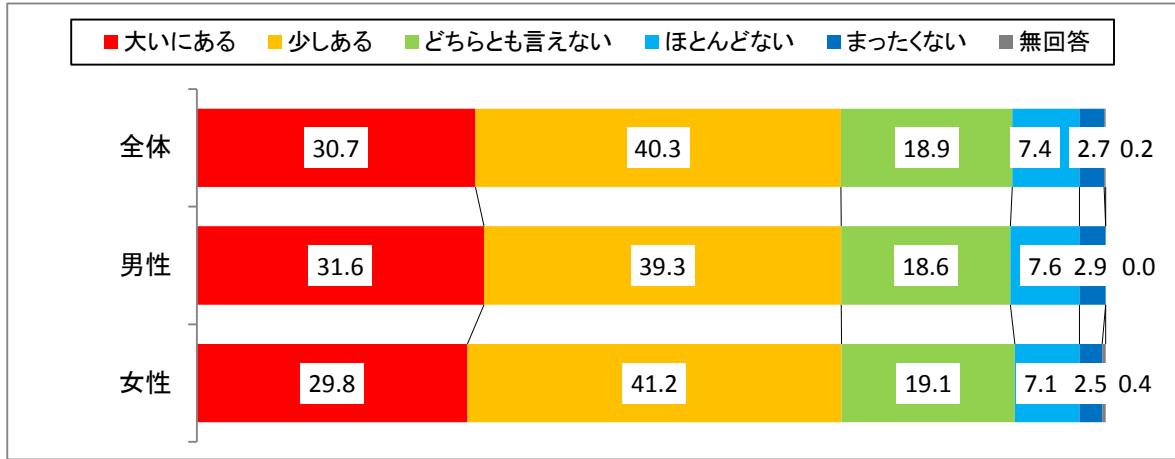
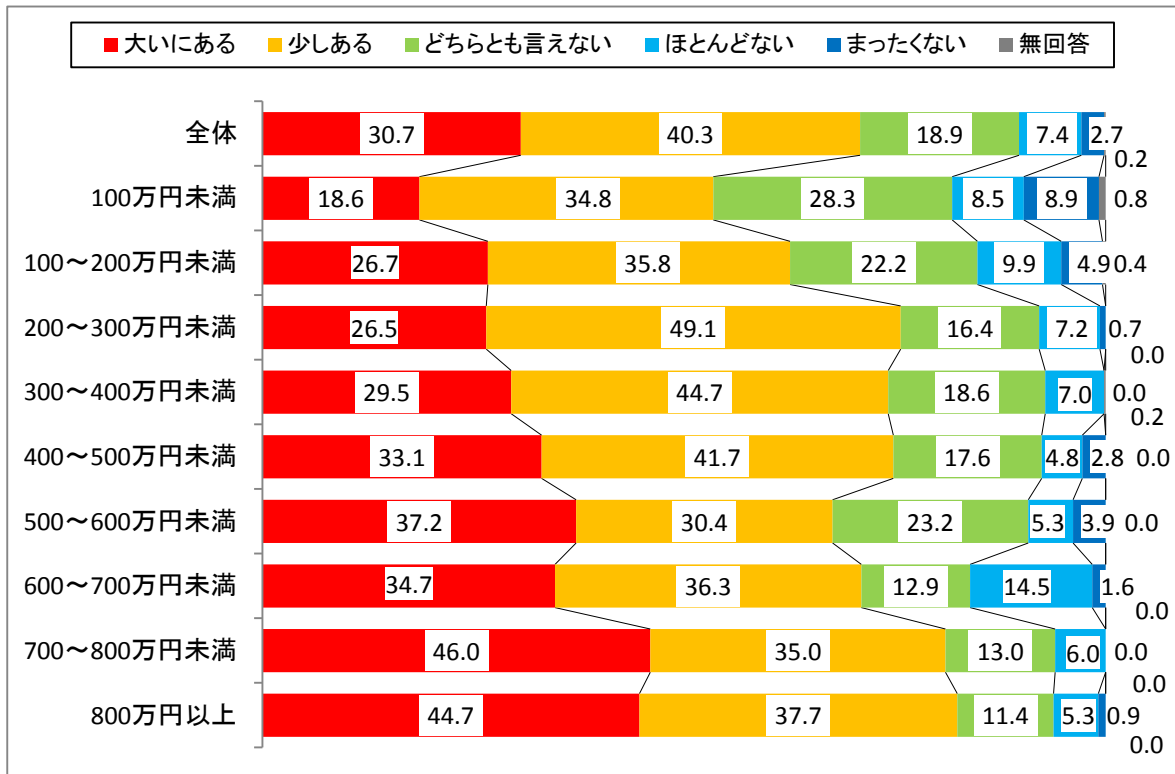


図 1-1-11-5 年収別 問 1-11



2. 自己及び社会に対する意識（問1）

(1) 社会に対する満足度（問1-12）

現在の社会に満足しているかについて、「満足している」（4.0%）と「どちらかと言えば満足している」（26.2%）の合計は約3割である。これに対し、「どちらかと言えば満足していない」（34.4%）、「満足していない」（19.7%）と答えた人が54.1%と5割を超える。

前回調査と比較すると、「満足している」が前回2.5%から1.5ポイント増、「どちらかと言えば満足している」が前回20.7%から5.5ポイント増となっている。一方、「どちらかと言えば満足していない」が前回39.7%から5.3ポイント減、「満足していない」が前回25.2%から5.5ポイント減となっている。前回調査から社会に対する満足度が高まっていることがわかる。

地域別に見ると、社会に対する満足度は北部で低くなっている。

年代別に見ると、社会に対する満足度は10代、20代の若年層で高くなっている。

年収別に見ると、社会に対する満足度は年収700万円以上の各層で高く、200万円未満の各層で低くなっている。

図1-2-1-1 問1-12 社会に対する満足度

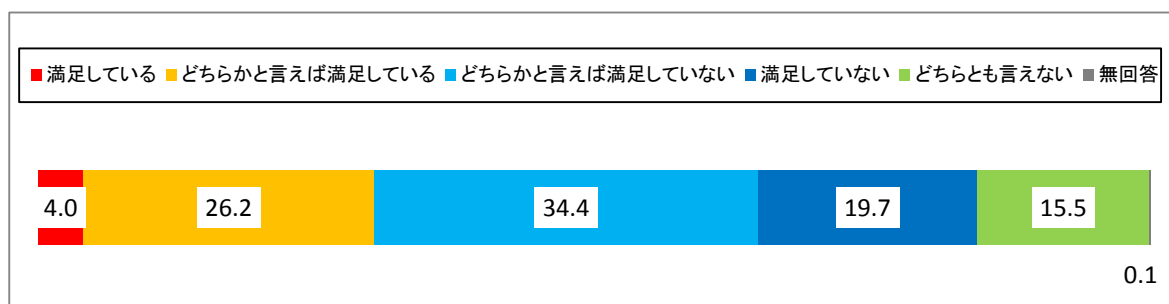


図1-2-1-2 地域別 問1-12

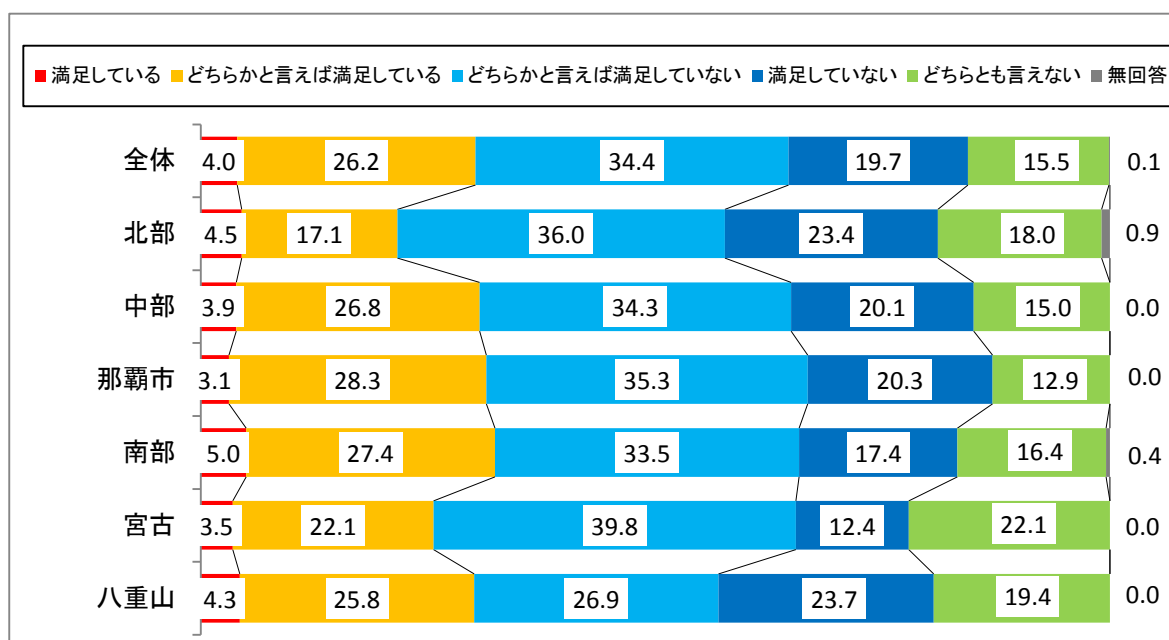


図 1-2-1-3 年代別 問 1-12

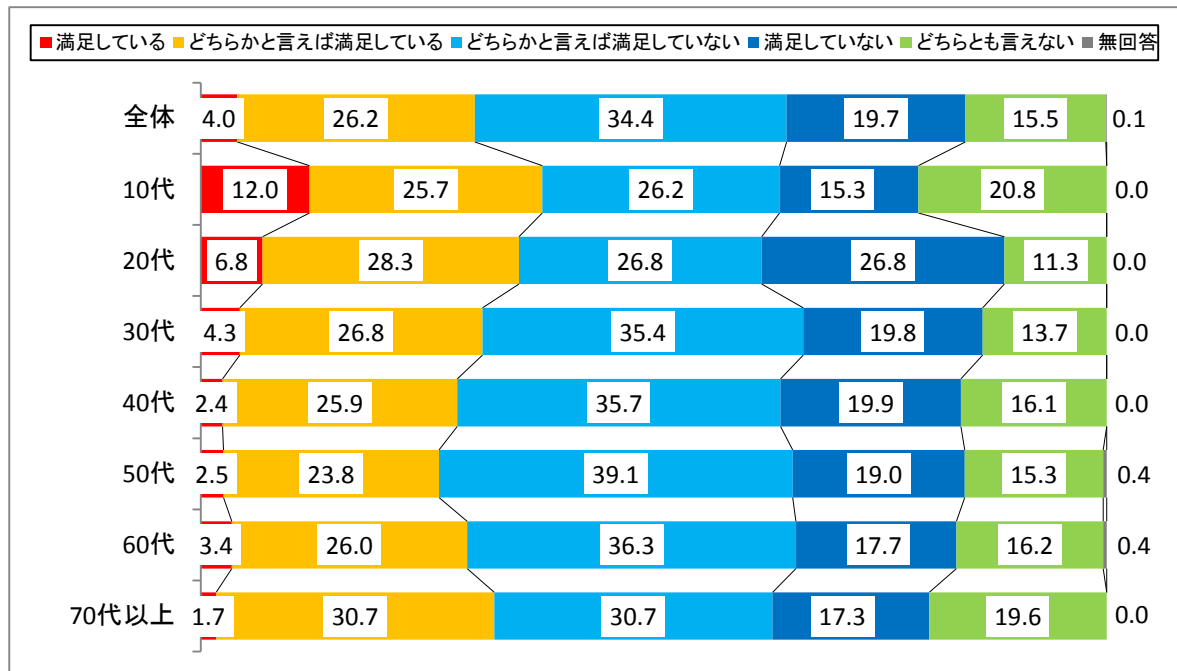


図 1-2-1-4 性別 問 1-12

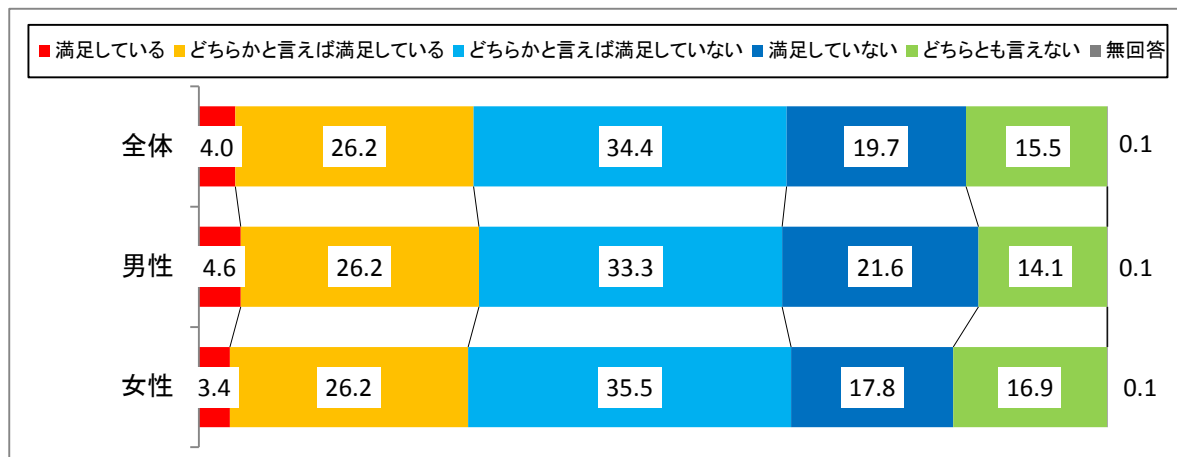
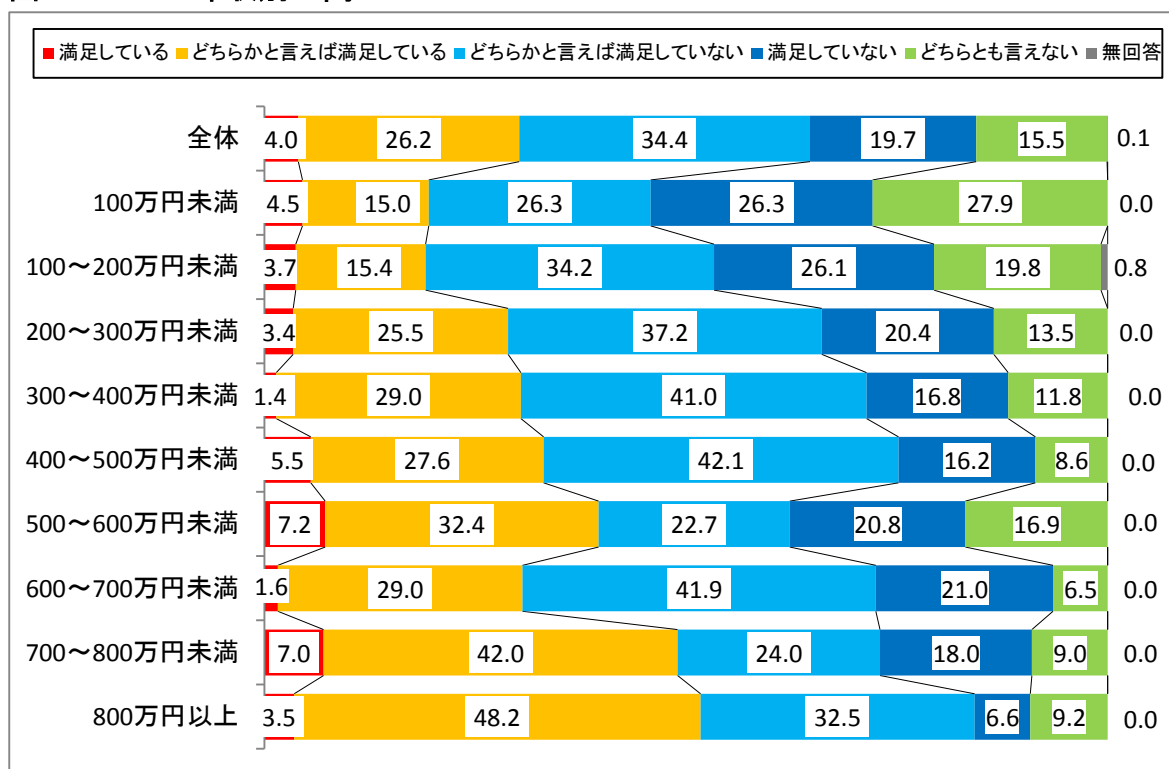


図 1-2-1-5 年収別 問 1-12



(2) 県民間の経済格差 (問 1-13)

10年前の沖縄に比べて県民間の経済格差は縮まったと思うかについて、「変わらないと思う」と答えた人の割合が37.6%、「広がったと思う」と答えた人の割合が27.9%となっている。「縮まったと思う」と答えた人の割合は6.6%と少なかった。なお、「わからない」と答えた人の割合は27.5%となっている。

前回調査と比較すると、最も回答の多かった「変わらないと思う」が前回32.8%から4.8ポイント増加し、「縮まったと思う」も前回4.9%から1.7ポイント増加している。一方、「広がったと思う」が前回33.4%から5.5ポイント減少している。

地域別に見ると、「広がったと思う」人の割合は那覇市と中部で3割強となっているのに対し、八重山と南部で2割前後となっている。

年代別に見ると、「縮まったと思う」人の割合は60代以上の年代で他の年代より高くなっているが、この年代では「広がったと思う」人の割合も高くなっている。「変わらないと思う」と答えた人の割合は50代で高くなっている。20代以下の若年層では「分からない」人の割合が高い。

性別に見ると、「広がったと思う」人の割合は男性で高くなっている

年収別に見ると、「縮まったと思う」人の割合は年収700~800万円未満で高くなっているが、この層では「広がったと思う」人の割合も高くなっている。「広がったと思う」人の割合はこのほか、500~600万円未満でも高くなっている。「変わらないと思う」人の割合は、800万円以上と600~700万円未満で高くなっている。

図 1-2-2-1 問 1-13 県民間の経済格差

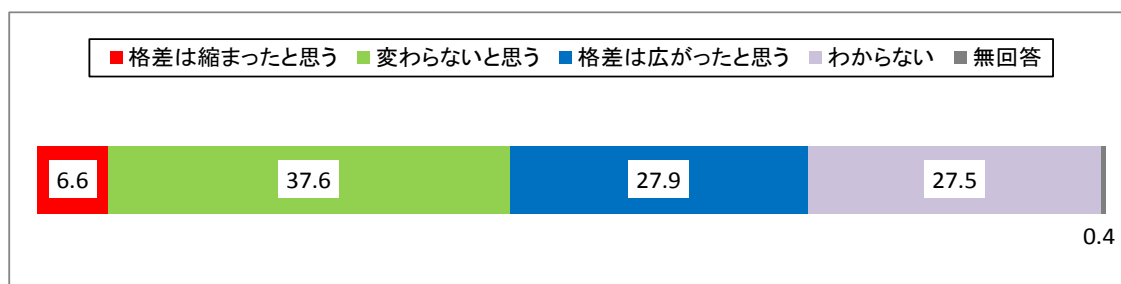


図 1-2-2-2 地域別 問 1-13

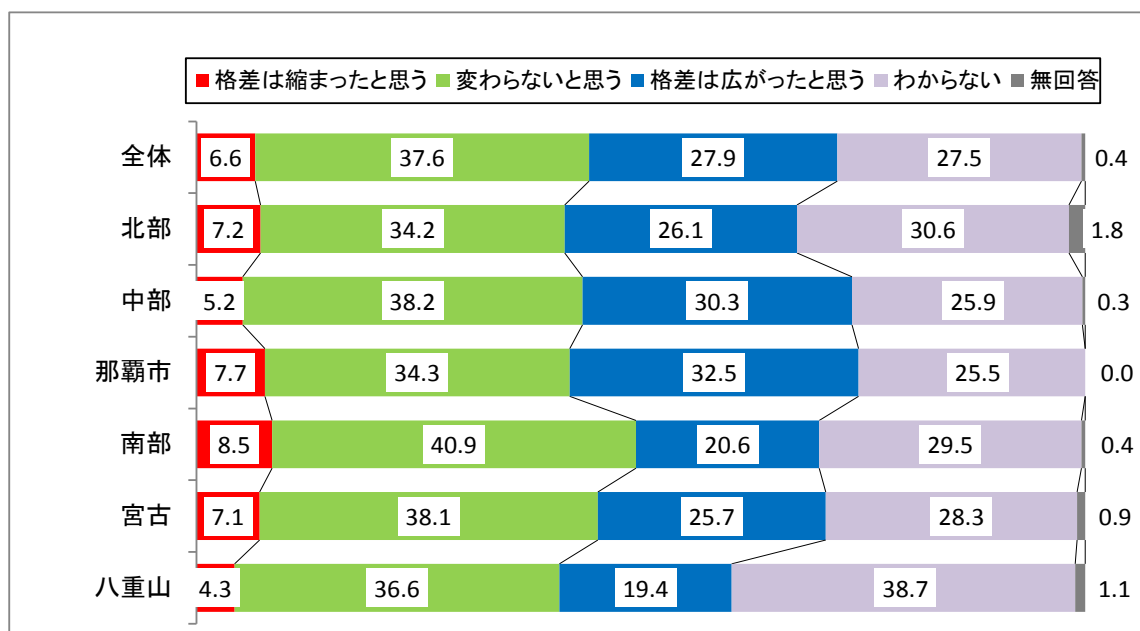


図 1-2-2-3 年代別 問 1-13

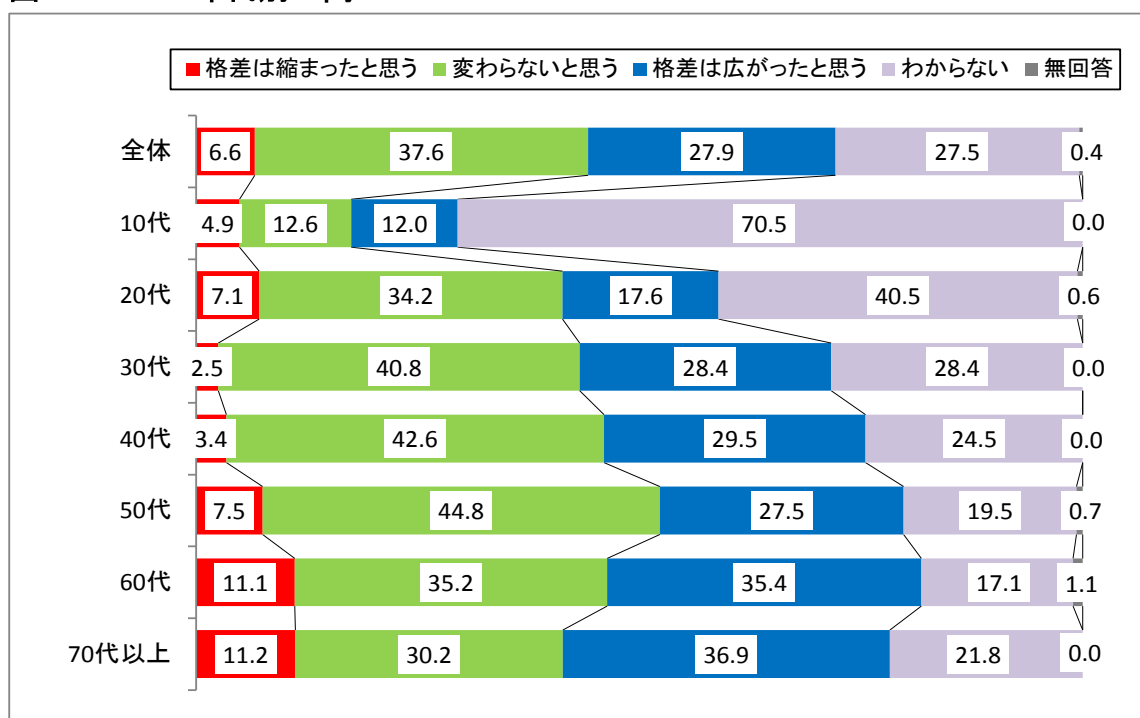


図 1-2-2-4 性別 問 1-13

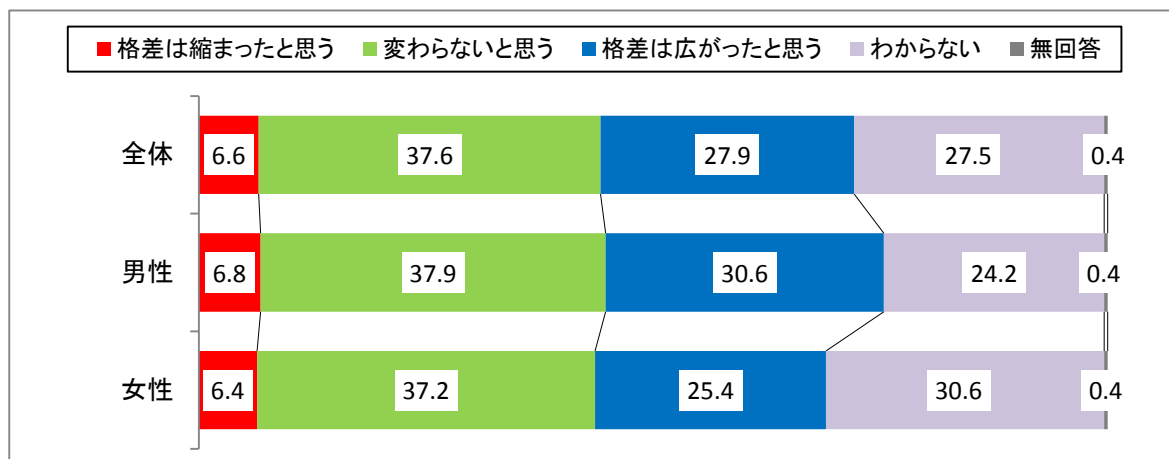
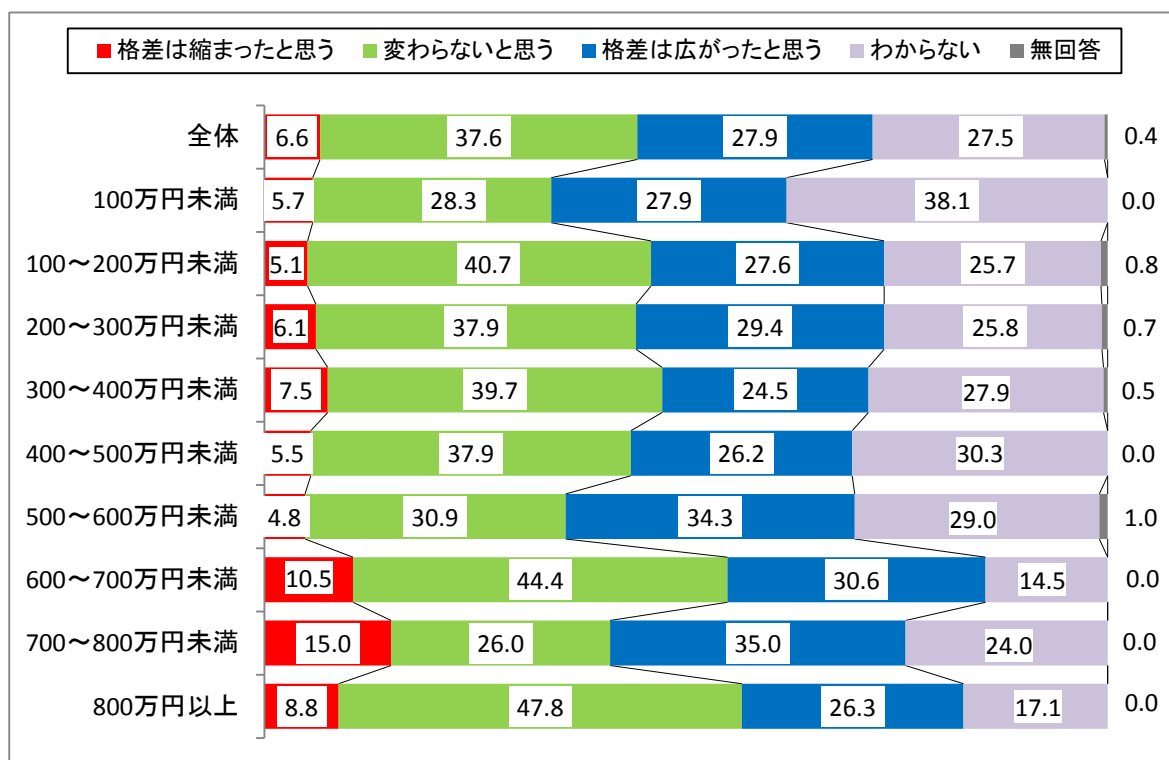


図 1-2-2-5 年収別 問 1-13



(3) 沖縄県に誇りを感じるか (問 1-14)

沖縄県に誇りを感じるかについて、「誇りを強く感じている」(27.4%)、「どちらかと言えば誇りを感じている」(56.7%)と答えた人が8割を超えている。「誇りを感じていない」(4.8%)と「どちらかと言えば誇りを感じていない」(10.8%)の合計は約15%である。

前回調査と比較すると、あまり変化は見られない。

地域別に見ると、「誇りを強く感じている」と答えた人の割合は宮古と八重山で低くなっている。

年代別に見ると、「誇りを強く感じている」と答えた人の割合は10代で高くなっている。

年収別に見ると、「誇りを強く感じている」と答えた人の割合は年収 800 万円以上で最も高くなっている。「誇りを感じていない」「どちらかと言えば誇りを感じていない」と答えた人の合計は 100 万円未満で高くなっている。

図 1-2-3-1 問 1-14 沖縄県に誇りを感じるか

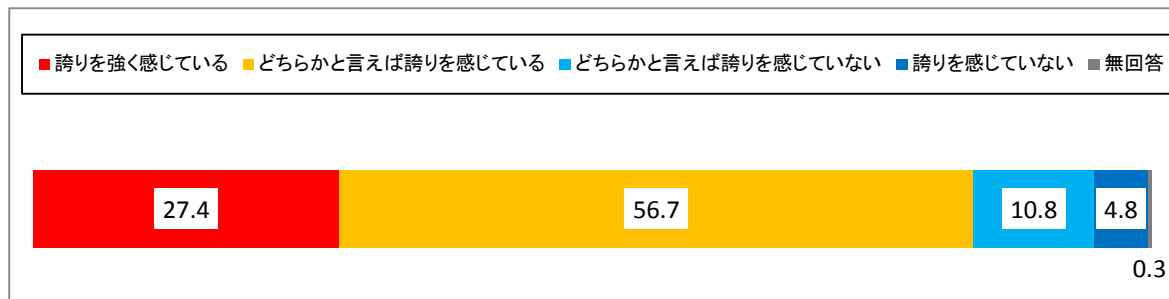


図 1-2-3-2 地域別 問 1-14

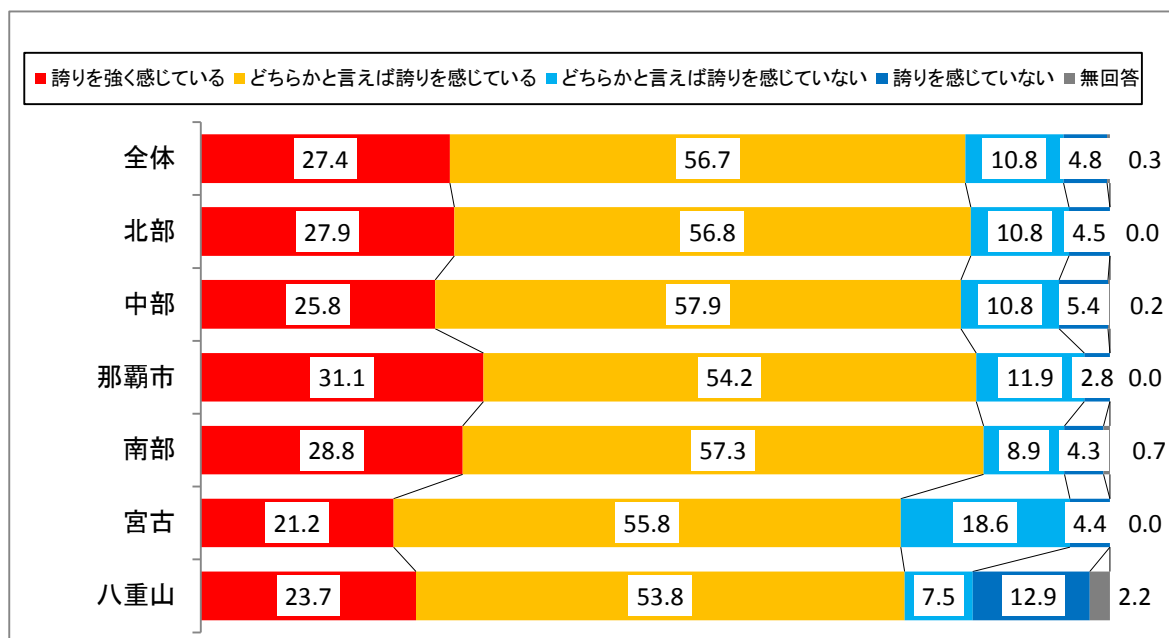


図 1-2-3-3 年代別 問 1-14

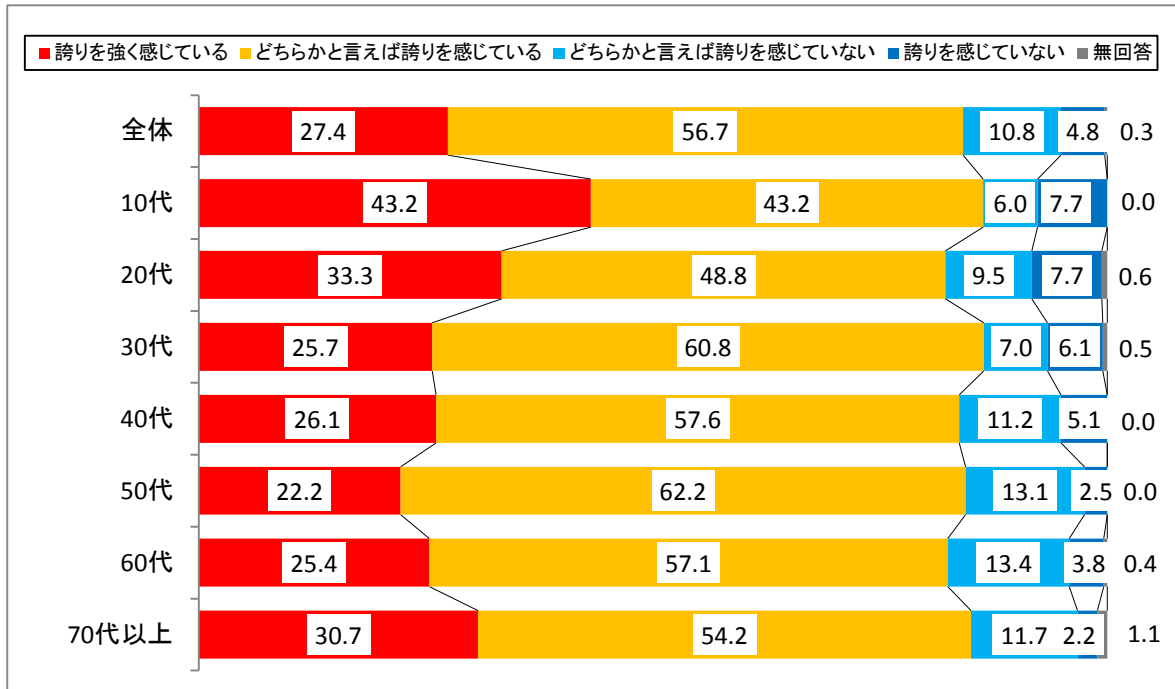


図 1-2-3-4 性別 問 1-14

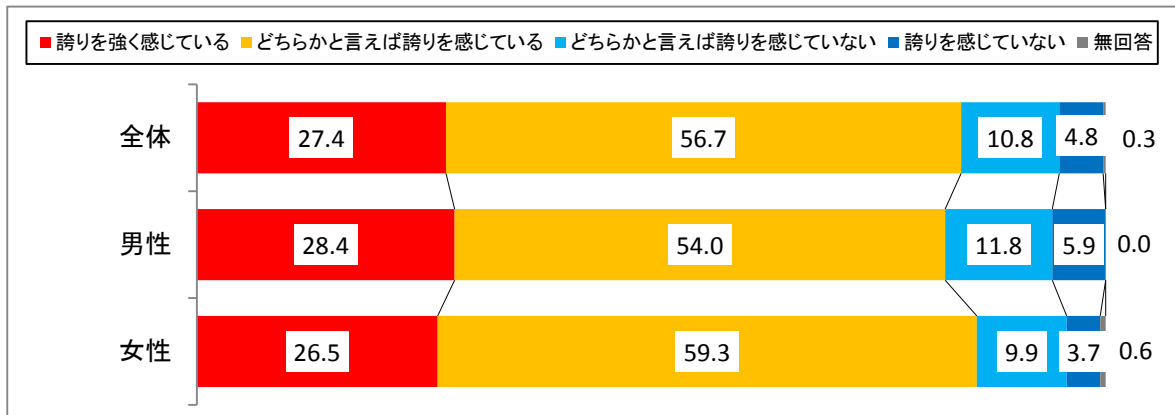
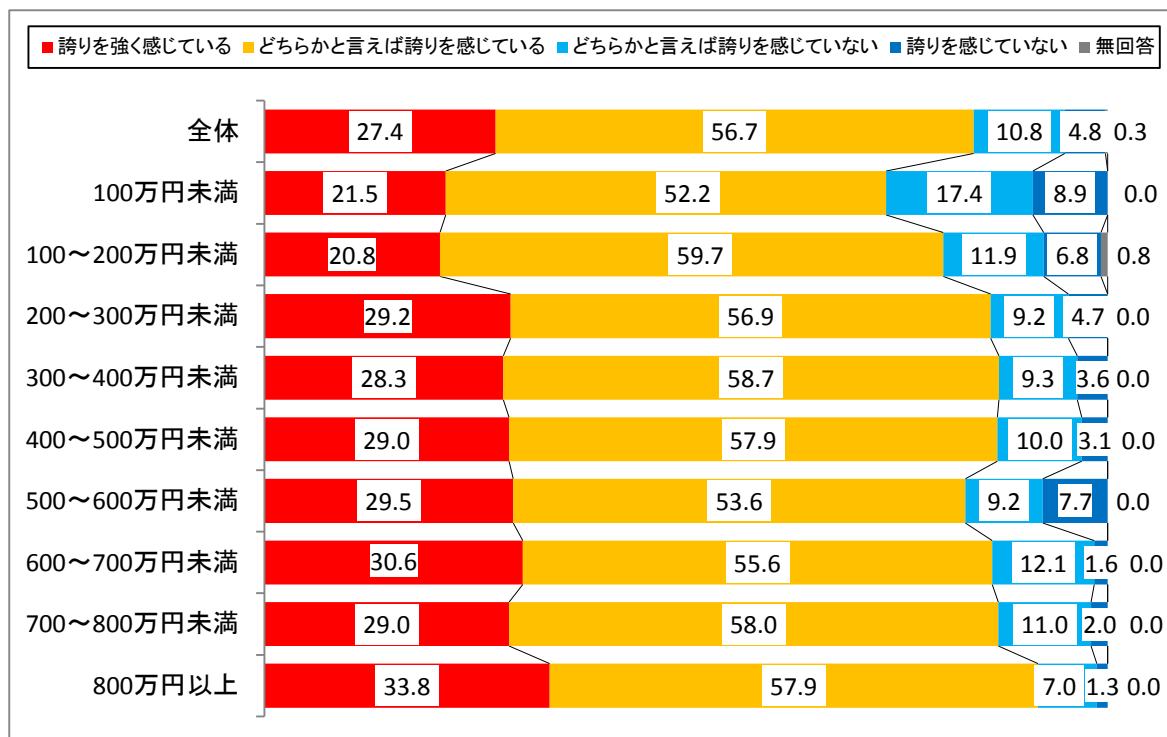


図 1-2-3-5 年収別 問 1-14



(4) 沖縄県に生まれて良かったと思うか (問 1-15)

沖縄県に生まれ、あるいは生活できて良かったと思うかについて、「非常に良かったと思う」と答えた人は 45.8%であった。これに「まあまあ良かったと思う」(40.0%)を加えると、8割を超える人が沖縄に生まれ、あるいは生活していることに良かったと思っていることがわかる。逆に、「どちらとも言えない」(11.7%)「あまり良かったとは思わない」(1.4%)「良かったとは思わない」(0.9%)の合計は約 14%となっている。

前回調査と比較すると、ほとんど変化は見られない。

地域別に見ると、「非常に良かったと思う」と答えた人の割合は南部で最も高く 5割近く、宮古で最も低く 4割となっている。

年代別に見ると、「非常に良かったと思う」と答えた人の割合は 60代で最も低く 3割強にとどまるが、年代が下がるほど割合は高くなり 10代で 6割を超えている。

性別に見ると、「非常に良かったと思う」と答えた人の割合は男性より女性のほうが 4.2ポイント高くなっている。

年収別にみると、「非常に良かったと思う」「まあまあ良かったと思う」人の合計は 800万円以上で高くなっている。

図 1-2-4-1 問 1-15 沖縄県に生まれて良かったと思うか

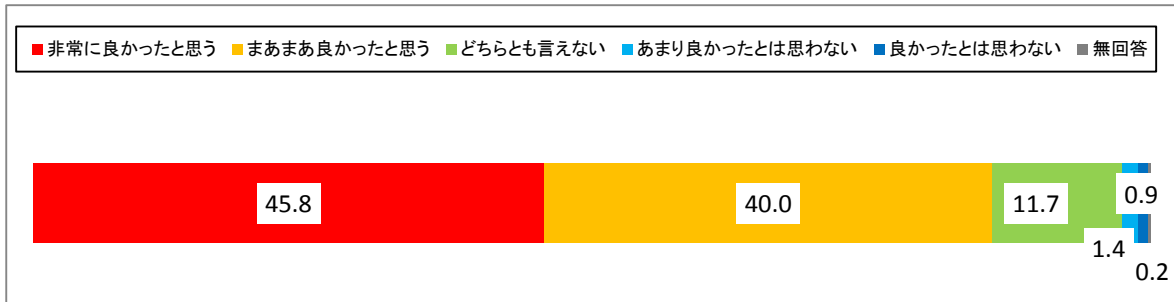


図 1-2-4-2 地域別 問 1-15

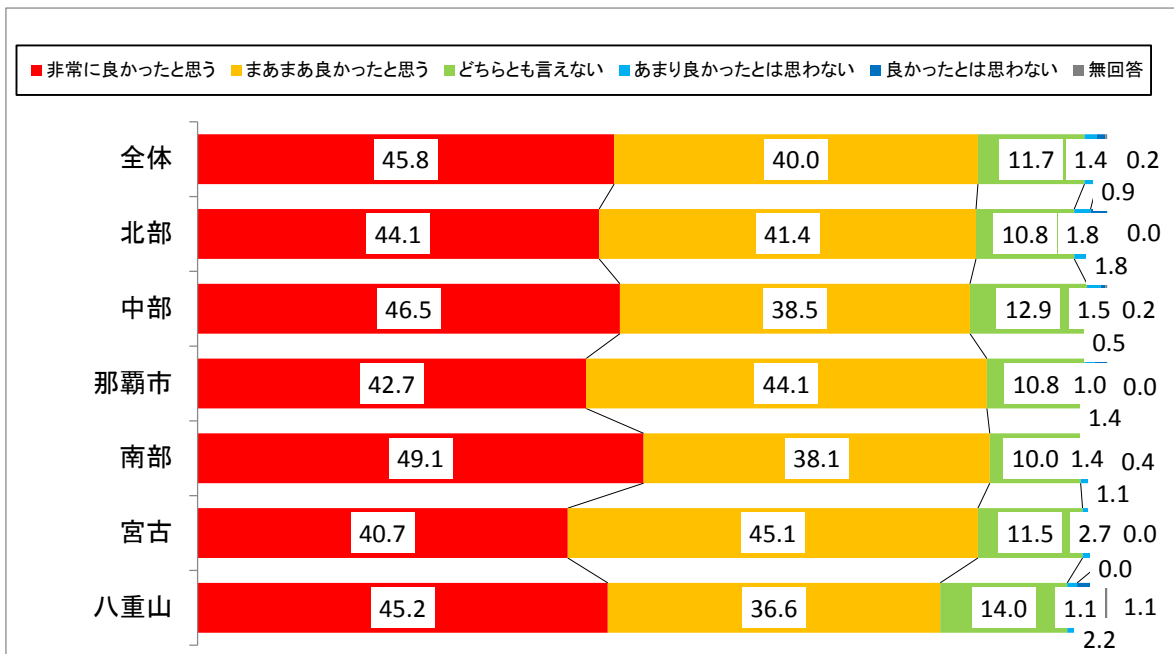


図 1-2-4-3 年代別 問 1-15

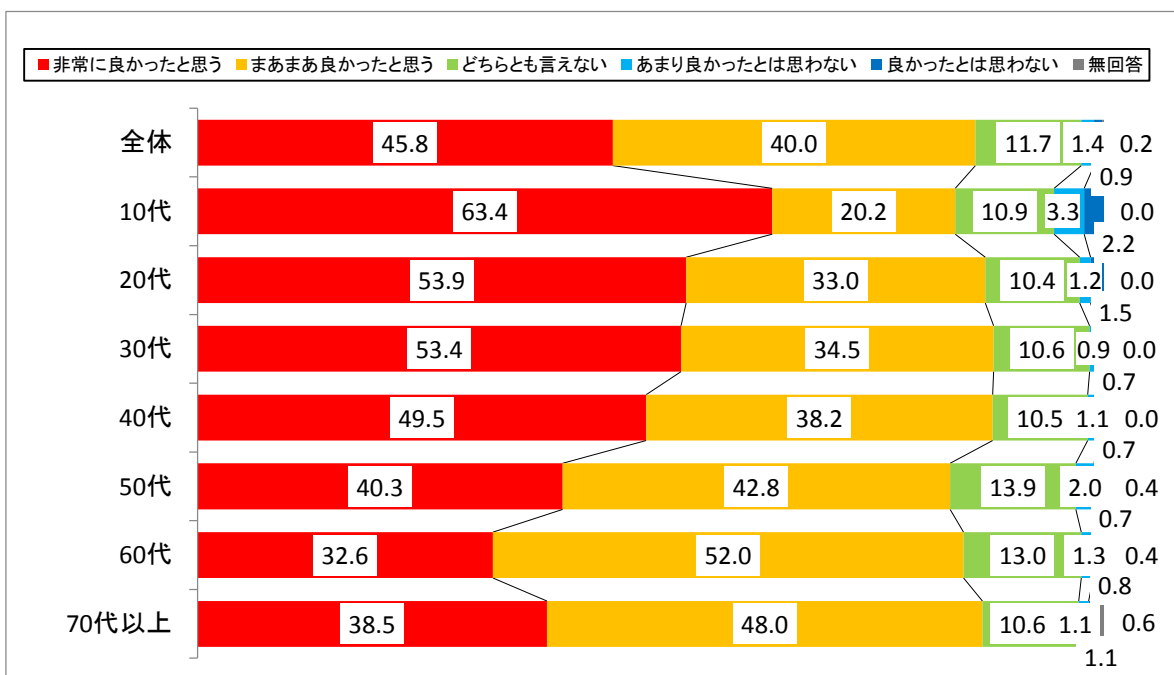


図 1-2-4-4 性別 問 1-15

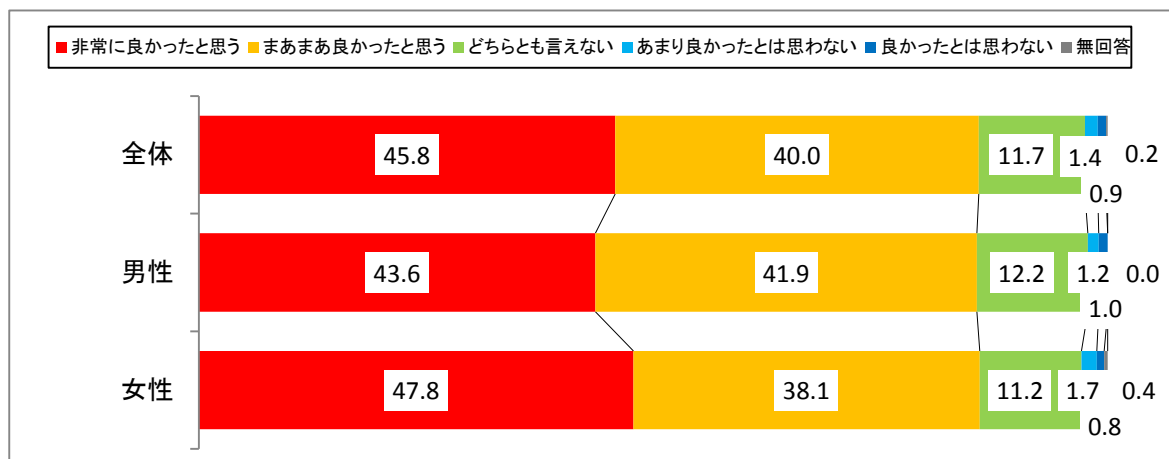
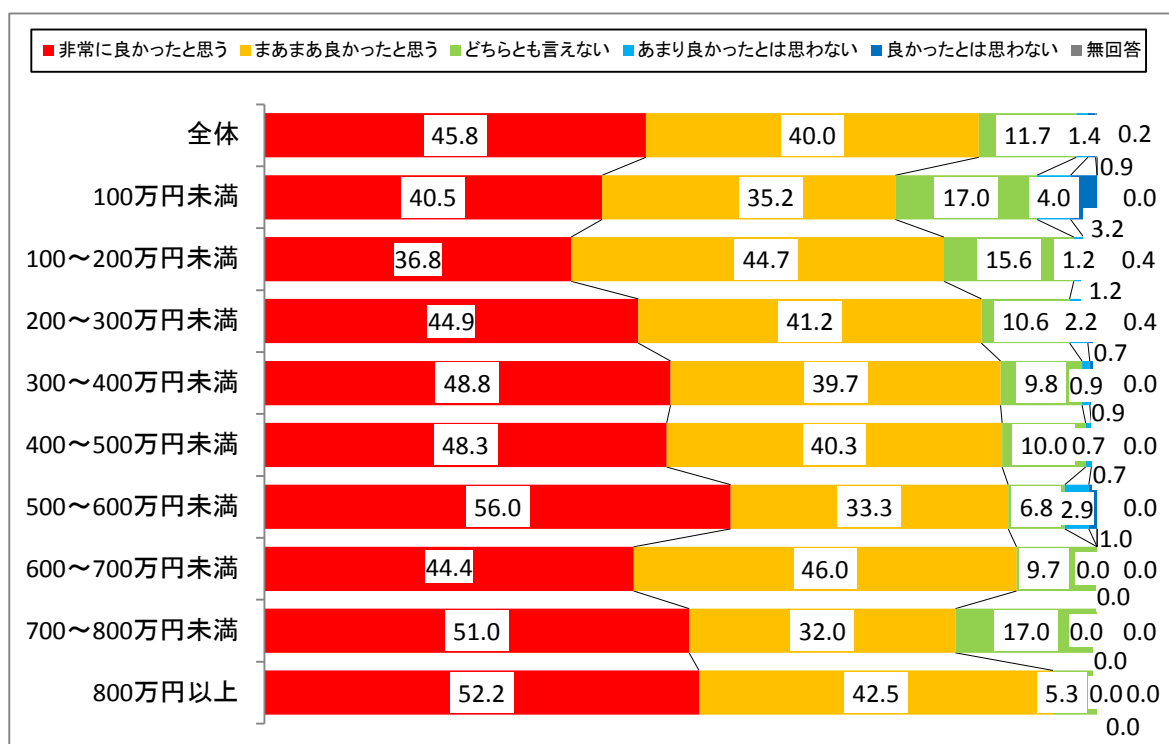


図 1-2-4-5 年収別 問 1-15



(5) 米軍施設への認識 (問 1-16)

沖縄県に米軍専用施設の約74%が存在していることについて、差別的な状況かどうかについて、「そう思う」(43.7%)と4割強の人が答えている。これに「どちらかと言えばそう思う」(25.4%)を加えると約7割の人が差別的状況だと思っている。逆に、「どちらかと言えばそう思わない」(10.4%)、「そうは思わない」(8.8%)の合計は約2割となっている。

前回調査と比較すると、「そう思う」が前回49.6%から5.9ポイント減少している。一方、「どちらかと言えばそう思わない」が前回6.7%から3.7ポイント増加している。

地域別に見ると、「そう思う」と答えた人の割合は宮古と八重山で他の地域より低くなっている。「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と答えた人の合計は那覇市

で高くなっている。

年代別に見ると、「そう思う」人の割合は沖縄返還後に生まれた30代以下に比べ40代以上の年代で高くなっている。

性別に見ると、「そうは思わない」「どちらかと言えばそう思わない」と答えた人の割合は共に男性で高くなっている。

年収別に見ると、「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と答えた人の合計は年収400～500万円未満と600万円以上の各層で高くなっている。

図 1-2-5-1 問 1-16 米軍施設への認識

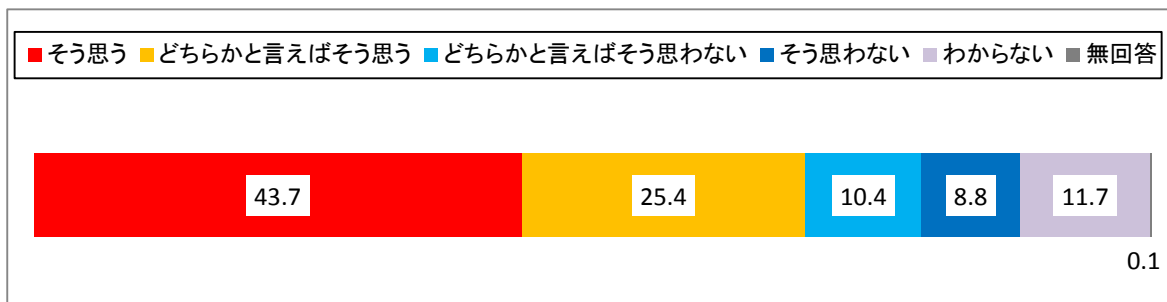


図 1-2-5-2 地域別 問 1-16

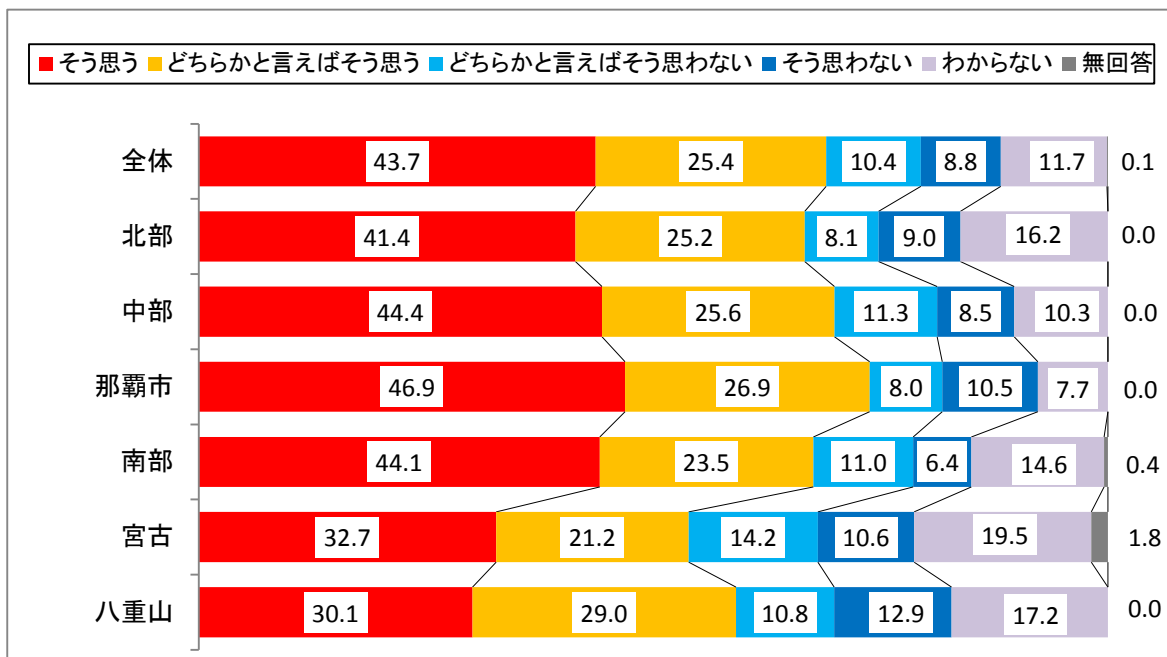


図 1-2-5-3 年代別 問 1-16

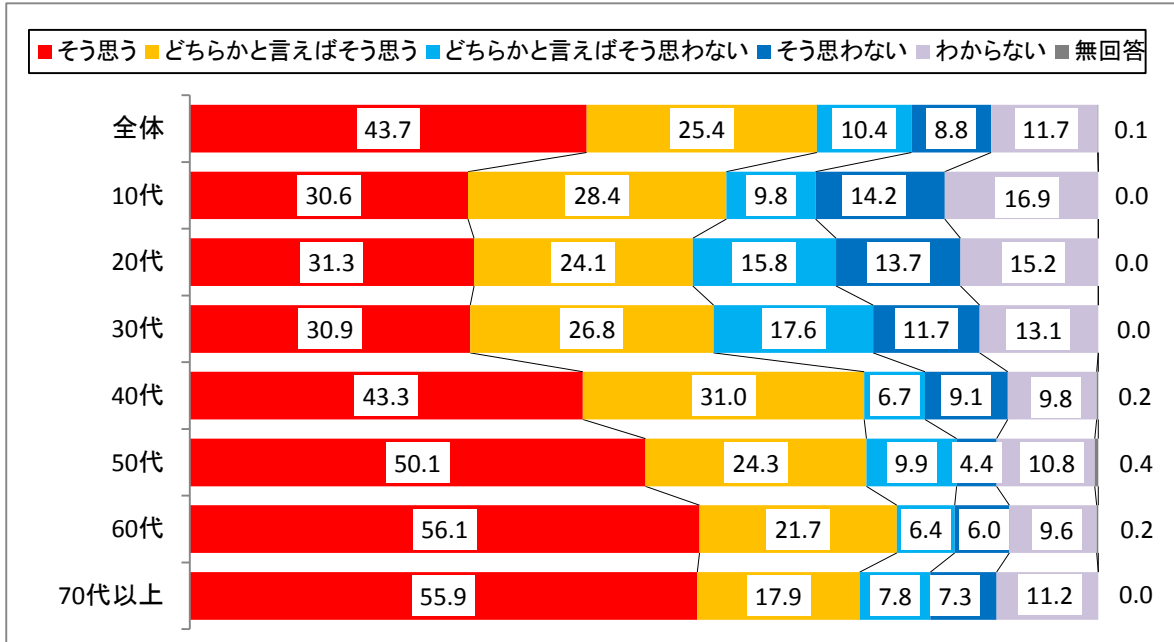


図 1-2-5-4 性別 問 1-16

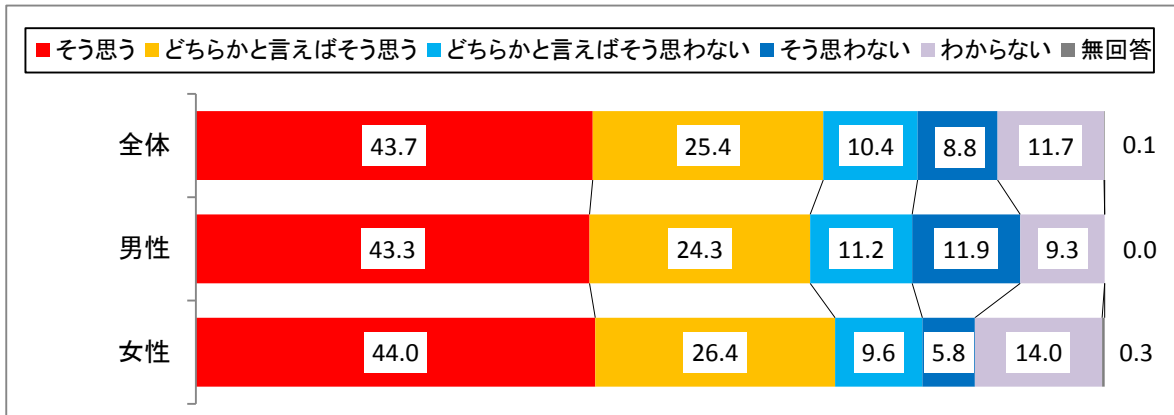
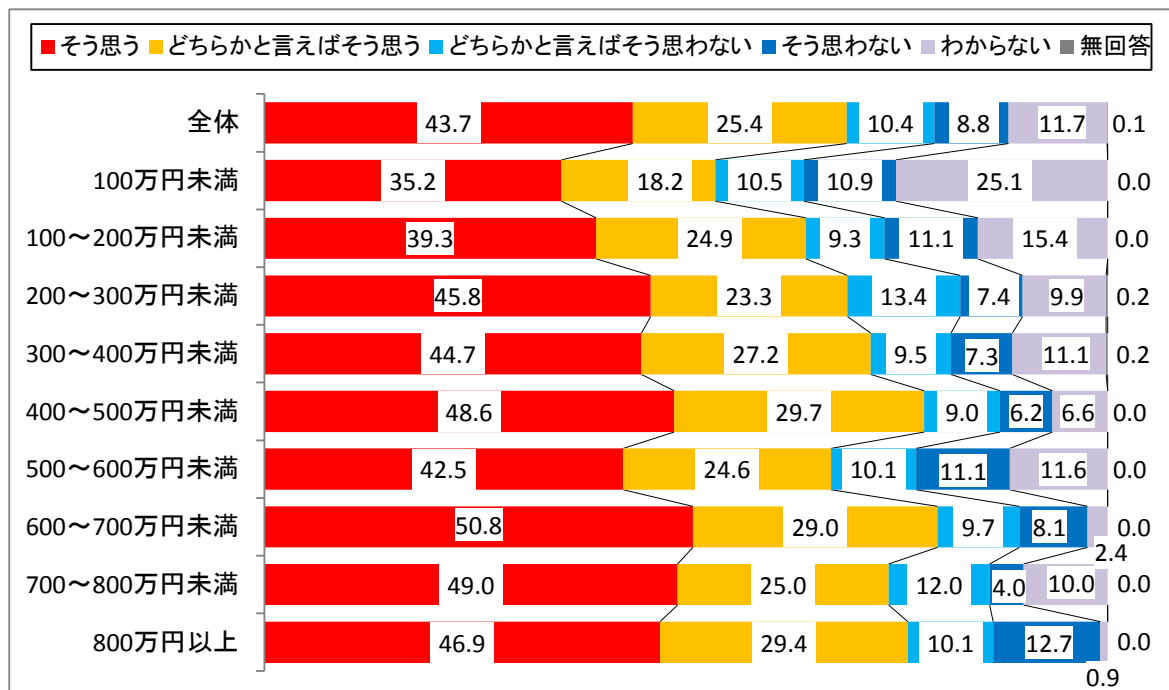


図 1-2-5-5 年収別 問 1-16



(6) イベント・催し物への参加 (問 1-17)

各種のイベントや催し物・会合等に参加しているか否かについて、「積極的に参加している」(8.7%)と「どちらかと言えば参加している」(30.2%)の合計は38.9%である。「どちらかと言えば参加していない」(28.6%)と「ほとんど参加していない」(32.4%)の合計は61.0%である。

前回調査と比較すると、あまり変化は見られない。

地域別に見ると、「積極的に参加している」「どちらかと言えば参加している」と答えた人の合計は南部と宮古で高いが、そのうち、「積極的に参加している」について見ると北部と八重山が他の地域より高い。

年代別に見ると、10代で参加は低く、不参加が高くなっている。

性別に見ると、男性のほうが女性より「積極的に参加している」「どちらかと言えば参加している」人の割合は共に高くなっている。

年収別に見ると、「積極的に参加している」「どちらかと言えば参加している」人の合計は年収400～600万円未満、800万円以上の各層で高くなっている。一方、「どちらかと言えば参加していない」「ほとんど参加していない」人の合計は200万円未満の各層で高くなっている。

図 1-2-6-1 問 1-17 イベント・催し物への参加

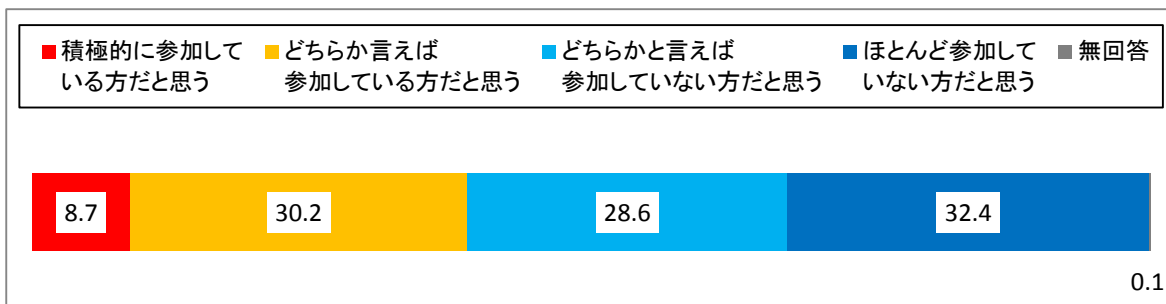


図 1-2-6-2 地域別 問 1-17

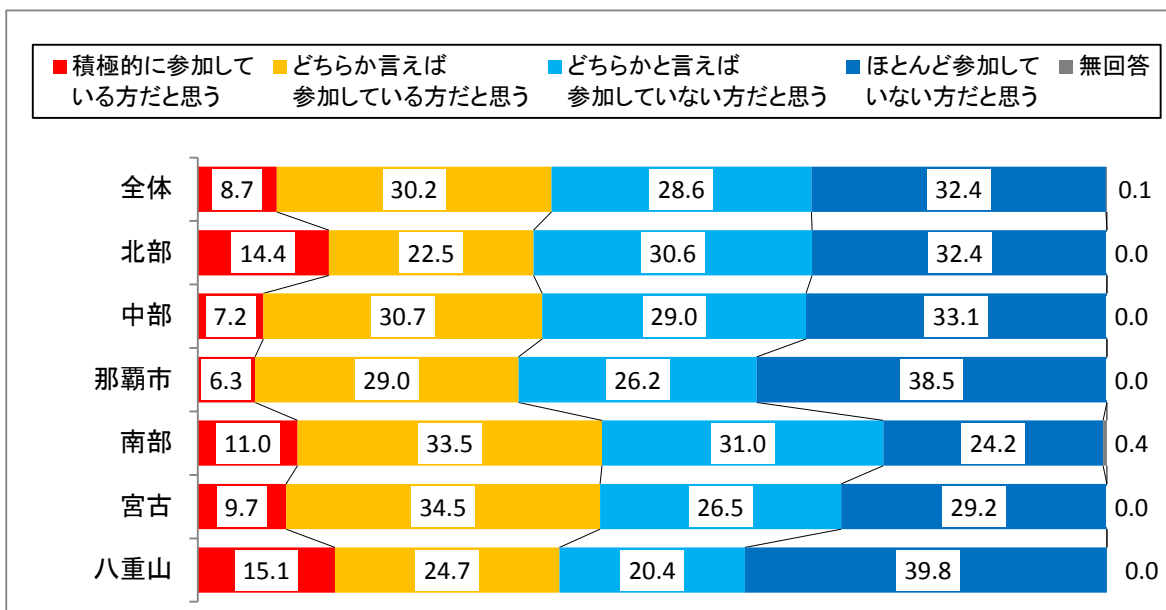


図 1-2-6-3 年代別 問 1-17

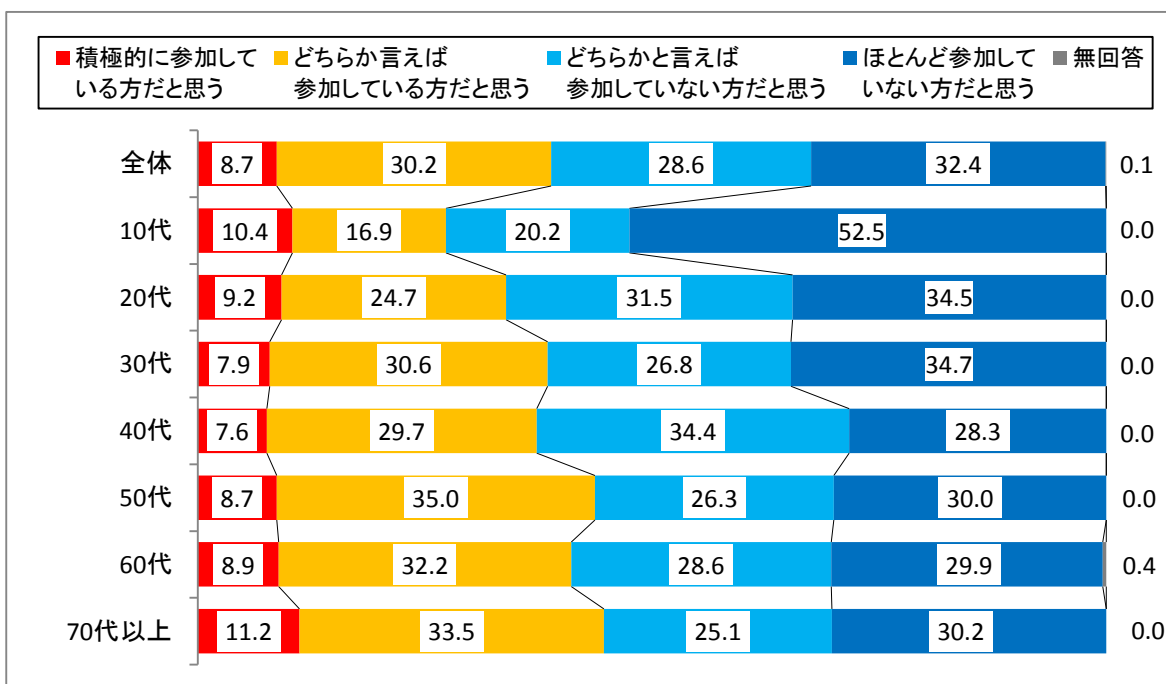


図 1-2-6-4 性別 問 1-17

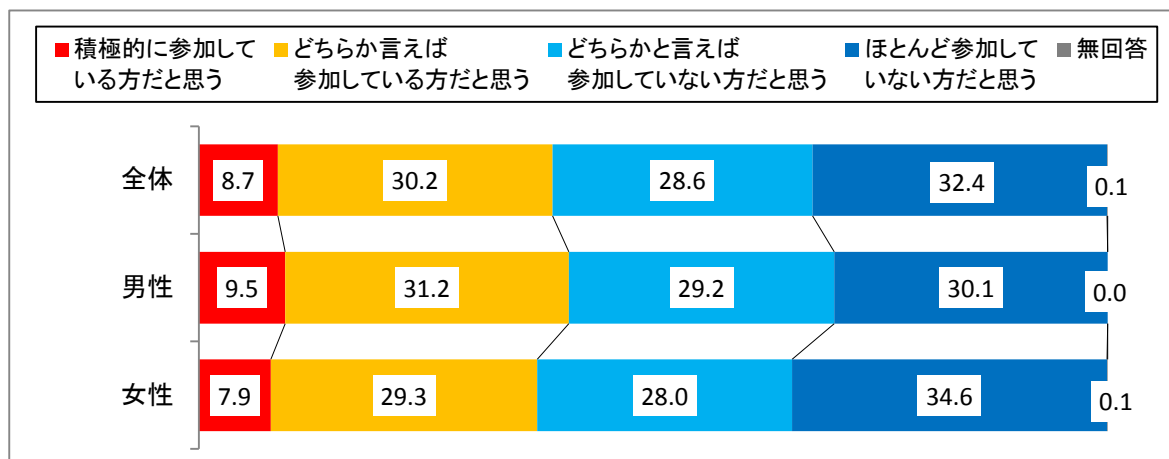


図 1-2-6-5 年収別 問 1-17

